

無線通信研究委員会

WP 6A

(ジュネーブ)

報告書

(案)

平成 24 年 10 月 17 日 ~ 平成 24 年 10 月 26 日

目次

1. まえがき.....	1
2. 会議の概要.....	5
2.1 会議の構成.....	5
2.2 主要結論.....	5
(1) 地上送信.....	5
(2) 保護.....	6
(3) 共用.....	7
(4) その他.....	7
3. 審議の内容.....	8
3.1 地上送信(SWG 6A-1).....	8
(1) 音声・マルチメディア放送関連.....	8
(2) テレビジョン関連.....	11
3.2 保護(SWG 6A-2).....	22
3.3 共用(SWG 6A-3).....	29
(1) WRC-15 議題.....	30
(2) 共用検討 (Sharing Studies) 手法.....	34
(3) 共用検討 (Sharing Studies) に向けた特性とパラメータ.....	36
(4) その他.....	38
3.4 その他(SWG 6A-4).....	38
4. あとがき.....	42
表 1 日本からの出席者 (4 名).....	44
表 2 入力文書 (全 116 件).....	44
表 3 出力文書一覧(全 36 件).....	51

1. まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第6研究委員会(SG 6:放送業務)の作業部会WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日 : 2012年10月17日(水)～10月26日(金) (10日間)
開催地・会場 : ITU本部 (スイス・ジュネーブ)
議長 : L. OLSON氏 (米)
副議長 : R. BUNCH氏 (豪)、M. HATE氏 (英)、
A.H. NAFEZ氏 (イラン)、L. ROCCHI氏 (伊)、
J. SONG氏 (中国)
登録者 : 37ヶ国・13機関から117名 (事務局除く)
日本より7名登録 (4名出席、表1参照)
入力文書 : 116件 (表2参照)
出力文書 : 36件 (表3参照)

SG6に提出:12件

研究課題改訂案 : 2件

- (1) ITU-R 133/6 「地上デジタル放送の強化」 (6A/TEMP/50)
- (2) ITU-R 136/6 「全世界的な放送ローミング」 (6A/TEMP/51)

新勧告案 : 1件

- (1) ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN] 「VHF/UHF帯第2世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」 (6A/TEMP/72)

勧告改訂案 : 4件

- (1) ITU-R BT.1206 「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトラム制限マスク」 (6A/TEMP/47)
- (2) ITU-R BT.1368 「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」 (6A/TEMP/58)
- (3) ITU-R BT.2016 「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送の誤り訂正、データフレーミング、変調、及び送信方法」 (6A/TEMP/67)
- (4) ITU-R BS.1195 「VHF及びUHF用送信アンテナの特性」 (6A/TEMP/69)

新レポート案 : 1件

- (1) ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] 「放送業務への干渉の評価方法」 (6A/TEMP/64)

レポート改訂案：3件

- (1) ITU-R BT.2140「アナログからデジタルへの地上放送の移行」(6A/TEMP/42)
- (2) ITU-R BT.2215「TV受信機の混信保護比と過入力閾値の測定」(6A/TEMP/66)
- (3) ITU-R BS.2251「26 MHz帯(25,670-26,100 kHz)のDRM(Digital Radio Mondiale)の改訂案」(6A/TEMP/68)

ハンドブック改訂案：1件

- (1) DTTBハンドブック改訂案「VHF及びUHF帯地上デジタルテレビジョン放送」(6A/TEMP/56)

リエゾン文書：11件

- (1) 災害救助システムとネットワーク復旧に関するフォーカスグループ議長へのリエゾン文書「災害救助のための国際ラジオ放送(IRDR)プロジェクト」(6A/TEMP/041)
- (2) WP5Aへのリエゾン文書「コグニティブ無線システム(CRS)の研究状況報告」(WP1B、WP5C、WP5Dへも情報共有)(6A/TEMP/043)
- (3) WP5Bへのリエゾン返書「勧告改訂草案ITU-R M.1841『87~108MHz帯におけるFM音声放送と、108~117.975MHz帯における航空機の地上型補強システム(GBAS)との両立性』に対するコメント」(6A/TEMP/045)
- (4) WP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.2028『30MHz未満の周波数を用いる誘導システムと無線通信業務との離隔距離の計算法』へのコメント」(6A/TEMP/046)
- (5) WP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.1541 Annex 4 への勧告ITU-R BT.1206の追加要請」(6A/TEMP/048)
- (6) WP1Cへのリエゾン返書「勧告ITU-R SM.1875『DVB-Tのカバレッジ測定とプランニング基準の検証』」(6A/TEMP/057)
- (7) WP3Kへのリエゾン文書「短期干渉波の修正提案」(JTG 4-5-6-7、WP5A、WP5C、WP5Dへも情報共有)(6A/TEMP/059)
- (8) WP5Dへのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 及び 1.2 に関する検討」(6A/TEMP/060)
- (9) JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する放送業務の周波数要求」(6A/TEMP/061)
- (10) JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する地上デジタルテレビジョン放送の技術的特性と他の技術課題」(6A/TEMP/063)
- (11) JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する共用検討に関するパ

ラメータ」 (WP5Dへも情報共有) (6A/TEMP/065)

継続審議：12件

新勧告草案：1件

- (1) ITU-R BT.[DTVRX]「地上デジタルテレビジョンシステムの周波数プランニングに向けた標準受信システムの特性」 (6A/TEMP/053)

勧告改訂草案：1件

- (1) ITU-R BS./BT.1895「地上放送システムの保護基準」 (6A/TEMP/074)

レポート改訂草案：2件

- (1) ITU-R BT.2252「システムAおよびBの地上デジタルテレビジョン放送信号のカバーエリアの客観評価」 (6A/TEMP/055)
- (2) ITU-R BT.2247「DTTB(地上デジタルテレビジョン放送)とIMT(国際移動通信)の両立性に関する野外測定と分析」 (6A/TEMP/075)

作業計画：1件

- (1) WRC-12 決議と勧告に関連した研究の作業計画のアップデート (6A/TEMP/076)

ラポータグループ設置：1件

- (1) 新レポート草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に関するラポータグループ設置について (6A/TEMP/070)

作業文書：6件

- (1) 勧告改訂草案ITU-R BT.1735-1「勧告BT.1306に規定されたシステムBの地上デジタルテレビジョン放送信号の受信品質の客観的評価方法」に向けた作業文書 (6A/TEMP/054)
- (2) 新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」に向けた作業文書 (6A/TEMP/071)
- (3) 新レポート草案ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS]「470-790MHz帯におけるコグニティブ機器から放送サービスへの干渉検討」に向けた作業文書 (6A/TEMP/044)
- (4) 新勧告草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書 (6A/TEMP/049)
- (5) 新レポート草案「第1地域における694-790MHzの周波数要求」に向けた作業

文書 (6A/TEMP/062)

- (6) レポート草案ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] 「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」に向けた作業文書 (6A/TEMP/073)

その他：1件

- (1) 議長レポートへ提供するための2つの文章 (6A/TEMP/052)

2. 会議の概要

2.1 会議の構成

以下の4つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)構成で審議にあたった。

SWG 6A-1	地上送信	議長：A. Nafez氏（イラン）
SWG 6A-2	保護	議長：M. Hate氏（英）
SWG 6A-3	共用	議長：R. Bunch氏（豪）
SWG 6A-4	その他	議長：M. Mullinix氏（米）

2.2 主要結論

(1) 地上送信

- ・新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」に向けた作業文書

移動受信向け地上マルチメディア放送の伝送システムに関する勧告ITU-R BT.2016 に記載される各システムのプランニング基準を提供する新勧告に向けた作業文書。各システム共通のプランニング基準（標準受信条件を定め、その条件下で混信保護比と最小電界強度を規定）を定義するGeneralの改訂（日本提案）とT/AT-DMB（Annex 1）に係るプランニング基準の入力（韓国提案）を審議し、新勧告草案に向けた作業文書として議長レポートに添付した。なお、システムH（DVB-H）、システムI（DVB-SH）、システムT2（DVB-T2 システムのT2 Liteプロファイル）に関する情報が入力されていないことが指摘された。

- ・勧告ITU-R BT.1206「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」の改訂案及び「勧告ITU-R SM.1541 Annex 4 への勧告ITU-R BT.1206 の追加要請」を行うWP1Aへのリエゾン文書

帯域外放射（OoB）の一般的なマスクを規定する勧告ITU-R SM.1541 との関係性を明確化するために、勧告ITU-R BT.1206 を周波数使用条件によって必要とされる特定マスクを記載するものとし、システム毎のAnnex構成とする勧告改訂案。今会合では、DVB-TとDTMBのマスクの規定を無線通信規則が規定する周波数範囲まで拡張する修正を承認。勧告改訂案としてSG6 へ上程した。また、勧告ITU-R SM.1541 のAnnex 4 に、業務毎の特定マスクに関するITU-R 勧告のリストがある。勧告ITU-R BT.1206 改訂の完了に伴い、勧告ITU-R BT.1206 を、このリストに追加記載するように要請するリエゾン文書をWP1A に送付した。

- ・新レポート草案ITU-R BT.[ISDBT_RELAY]「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」に向けた作業文書

ISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整など、デジタル中継局のネットワーク構築に関して、日本の経験をレポートとしてまとめることを目指す新

レポートに向けた作業文書。今後は、干渉の種類や、マイクロ波・UHF放送波による中継回線の構築のための検討手法例などを寄与する予定。新レポート草案に向けた作業文書を議長レポートに添付した。

- ・新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング基準に向けた標準受信システムの特性」

地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニングのための標準受信システムの特性を規定することを目指した新勧告草案。Annex 1（第1世代地上デジタル放送）に記載したATSC、DVB-Tの標準受信システムを規定するパラメータ（雑音指数、C/Nなど）を修正するとともに、Annex 2（第2世代地上デジタル放送）にDVB-T2のパラメータを記載して新勧告草案とした。新勧告草案をSG6へ上程することも議論したが、EBUが3つの受信形態（固定、携帯、移動）に応じた寄与を予定している他、日本も次回寄与の予定があるため、新勧告草案を議長レポートに添付した。

- ・新レポート草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書

音声・テレビジョン・マルチメディア等の地上デジタル放送システムを1つの文書に併記する新レポートに向けた作業文書。露は、前回会合に引き続き、音声・テレビジョン・マルチメディアといった様々な地上デジタル放送システムを1つの勧告にまとめることを提案した。地上デジタル放送システムの最新情報を記載し、方式選択のガイドラインを目指した新レポート草案として検討を進めることとし、この新レポート草案の起草のため、露を議長とするラポータグループを設置した。新レポート草案に向けた作業文書を議長レポートに添付した。

- ・勧告BT.1368-9「VHF/UHF帯地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂案

地上デジタルテレビジョンサービスのプランニング基準を規定する勧告ITU-R BT.1368-9の改訂案。Annex 2(DVB-T)に記載の「LTEからDVB-T受信機への混信保護比及び過入力閾値」について審議し、該当する混信保護比の表を更新した。前会合で課題とされたLTEのユーザ端末（LTE UE）の帯域外放射（OoB）の扱いについては、隣接チャンネル漏えい電力比（ACLR）の条件を明記し、LTE UEのACLRが異なる場合に混信保護比の値を補正する方法を付記することとした。勧告改訂案を承認し、SG6へ上程した。

(2) 保護

- ・WP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.2028（30MHz未満の周波数を用いる誘導システムと無線通信業務との離隔距離の計算法）へのコメント」

SG1 が作成した新勧告ITU-R SM.2028 (SM.[IND_SYSTEM]) に対するコメント。新勧告ITU-R SM.2028 には、誘導システム (IHクッキング、誘導を利用した地下鉄の無線設備など) から既存業務を保護するための離隔距離の計算法が示されている。しかし、放送保護基準を定めた勧告ITU-R BS./BT.1895 のI/N=-20dBに従った計算が行われていない。これを考慮するようにWP1Aへ要請するため、リエゾン文書を作成・送付した。

(3) 共用

- ・新レポート案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]「放送サービスへの干渉の評価ガイドライン」

放送の保護基準を定めた勧告BS./BT.1895 を補足し、主管庁が放送以外のサービス/アプリケーションから地上放送への干渉評価を行うガイドラインを提供する新レポート。放送サービスへの干渉評価として、Basic Assessment と Further Assessmentの 2 段階の評価を記載している。勧告BS./BT.1895 が示すI/N基準値を満たす場合はBasic Assessmentで評価が完了できる (前会合での日本提案)。Further Assessmentはモンテカルロ法などを用いてC/N劣化や場所率劣化を評価する。

JTG 4-5-6-7 への提供の〆切 (2012 年 12 月末) に間に合わせるため、今会合で完成させるべく審議した。前会合の出力文書 (6A/73 Annex 9) を更新するドラフト作業の結果、SG6 へ新レポート案を送付した。ただし、独と仏が承認に反対したため、両国の異議を付記した。仏は、その提案 (C/IIに基づくIMTから地上デジタル放送への干渉評価法) は有用であり、新レポートに盛り込むに値すると主張したが、単一の干渉波や、固定受信しか対象にできないことなどから、多くの主管庁は、このGeneralなガイドラインには不相当と反対した。独は、全主管庁間の合意を求めて継続審議を唱えた。

- ・WRC-15 議題関連

JTG 4-5-6-7 への寄与、特に第 1 地域に関わる議題 1.2 を中心に検討を行い、1 件の新勧告 (BT.[2NDDTTBPLAN])、1 件の勧告改訂 (IMT (LTE) から地上放送を保護する混信保護比に係る勧告BT.1368 の改訂 (前述(5)))、1 件の新レポート (干渉評価ガイドラインの新レポートBT.[DTTBGUIDELINE])、1 件のレポート改訂 (レポートBT.2215)、放送サービスに係る周波数要求、技術的な特性やパラメータに係る 3 通のリエゾン文書を承認した。また、今会合の結果を受けてWRC-12 決議・勧告に関連する研究の作業計画を更新した。

(4) その他

- ・レポートITU-R BT.2140-3「アナログから地上デジタル放送への移行」のアップ

デート

地上デジタル放送を開始した各国の状況を報告するレポート改訂案。伊・ケニアにおける地上デジタル放送の現状に関する更新情報が入力された。レポート改訂案を承認し、SG6 へ上程した。

3. 審議の内容

3.1 地上送信(SWG 6A-1)

SWG 6A-1 では、TV関連はSWG 6A-1 で審議を行い、音声・マルチメディア放送についてはDG(ドラフティンググループ)を作って審議した。

SWG1 DG1	Sound and Multimedia	議長：J. Song氏（中国）
----------	----------------------	-----------------

47 件の入力文書を審議し、2 件の研究課題改訂案、1 件の新勧告案、3 件の勧告改訂案、2 件レポート改訂案、1 件のハンドブック改訂案、3 件のリエゾン文書、ラポータグループ設置を含む 9 件の議長レポートまた議長レポート添付文書を出力した。

(1) 音声・マルチメディア放送関連

○デジタル音声放送

- ・レポート改訂案ITU-R BS. 2251 「26MHz帯(25,670–26,100kHz)のDRM」

入力文書：6A/94 (WP3K)

出力文書：6A/TEMP/68 (SG6 上程)

審議結果：

26MHz帯におけるDigital Radio Mondiale (DRM) のプランニングや野外実験に関するレポートである。2012 年 4 月会合で新レポート案ITU-R BS.[DRM26LOCAL]として承認され、現在、新レポートITU-R BS. 2251 となっている。新レポートITU-R BS. 2251 は26MHz帯を対象としているが、適用周波数範囲が30 MHz~3000 MHzとなっている勧告ITU-R P.1546 を参照していることから、ITU-R WP3Kへリエゾン文書を送り、引用の有効性を確認していた。

入力文書(6A/94)は、WP3Kからのリエゾン返書であり、ほぼ見通しの環境に限り30MHzの値を適用できることを紹介している。出力文書(6A/TEMP/68)は、このリエゾンに基づき、現状は勧告ITU-R P.1546 の値を使用することが最善と考えられるという注意書きを脚注するものである。レポート改訂案をSG6 へ上程した。

- ・単側波帯送信によるFM HDラジオの性能

入力文書：6A/125 (米)

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

入力文書（6A/125）は、勧告ITU-R BS.1114 に記載のデジタルシステムC（IBOC）の片側波帯（SSB）による伝送実験の結果を報告するものである。従来両側波帯（DSB）変調を用いてデジタルデータを伝送するIBOCにおいて、第2地域以外の規定を満足すること、あるいは第2地域の放送事業者が隣接チャンネルのアナログ放送波への与干渉を軽減することを目的にIBOCのSSBによる野外実験をボストンで実施し、SSBを用いた場合においても良好なカバーエリアを確認できたとしている。実験の報告であり、Notedとした。

○地上マルチメディア放送

- ・勧告改訂案ITU-R BT.2016「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送の誤り訂正、データフレーミング、変調、及び送信方法」

入力文書：6A/73/Annex5（前回議長レポート）

出力文書：6A/TEMP/67（SG6上程）

審議結果：

勧告ITU-R BT.2016 は、地上マルチメディア放送のシステム勧告である。現在は3つのシステム（T/AT-DMB, ISDB-Tマルチメディア, DVB-SH）について記載している。今会合では、2011年10月会合で入力され、継続審議となっていた2つのシステム（DVB-H, DVB-T2 システムのT2-Lite profile）について審議が行われた。前回議長レポートに添付（6A/73 Annex5）されたものから大きな修正（DVB-T2 の参考文献番号などエディトリアル修正を実施）はなく、議論が成熟したとして承認。勧告改訂案をSG6へ上程した。

- ・新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]「VHF/UHF帯における携帯受信機を用いた移動受信向け地上マルチメディア放送のプランニング基準」に向けた作業文書

入力文書：6A/73/Annex7（前回議長レポート）,

6A/118（日本）, 6A/126（韓国）

出力文書：6A/TEMP/71（6A/170/Annex4）

審議結果：

勧告ITU-R BT.2016 に記載される各システムのプランニング基準を提供する新勧告に向けた作業文書である。2012年4月会合では、日本からシステムF（ISDB-T マルチメディア放送）に関する混信保護比の数値を入力するとともに、Generalパートにプランニング基準の検討に必要な評価条件と受信条件（携帯・移動受信など）を全システム共通の要件として記載することを提案

した（6A/73/Annex7）。

今会合で、日本は、Generalパートの記載をより明確化することを目的に、各システム共通のプランニング基準（標準受信条件を定め、その条件の下で混信保護比と最小電界強度を規定）を定義する改訂提案を行った（6A/118）。また、韓国は、システムA（T-DMBとAT-DMB）（Annex 1）に係るプランニング基準の情報を入力した（6A/126）。日本提案のうち勧告ITU-R P.1546「30MHz-3GHz帯陸上通信のためのポイントーエリア伝搬特性推定法」の受信高補正には課題があるとする指摘は、勧告ITU-R P.1546はITUでは電界強度推定の唯一の基準であり、これを否定することはできないとして、認められなかったが、日本の主要な提案を韓国提案とマージした新勧告草案に向けた作業文書を議長レポートに添付とした。

なお、SWG議長（A. Nafez氏）は、システムH（DVB-H）、システムI（DVB-SH）、システムT2（DVB-T2 システムのT2 Liteプロファイル）に関する情報が入力されていないことを指摘した。

○勧告ITU-R BS.1195 の改訂

・ 勧告改訂案ITU-R BS.1195「VHF及びUHF用送信アンテナの特性」

入力文書：6A/73/Annex3（前回議長レポート）、
6A/107（ラポータ）、6A/109（イスラエル）

出力文書：6A/TEMP/69（SG6 上程）

審議結果：

前回議長レポート（6A/73/Annex3）は、送信アンテナの放射パターンを記述する際の角度の定義を修正する勧告ITU-R BS.1195の改訂草案である。

2012年4月会合では、放送局が一般的に使っている既存文書との整合性を考慮し、エレベーション角 θ は提案された学術書の記載する「天頂から水平面への角度」への修正を行わず注意書きに留める修正とした。アジマス角 ϕ も無線通信規則（RR）と一致していないことが指摘されたため、ラポータを指名して修正作業を行うこととしていた。

今会合では、ラポータとイスラエルが、検討結果をまとめ報告を行った（6A/107、6A/109）。アジマス角はRRの規定する真北を起点とする時計回りの角度でなく、現行の任意のX軸を起点とする反時計まわりの角度を選択し、エレベーション角はその範囲と関連する式及び図を修正することとした。この考え方は、Part 1 to Annex1に追加された新セクションReference Framesで説明されている。ラポータとイスラエルの修正提案を承認、勧告改訂案をSG6へ上程した。

○その他

- ・ 勧告ITU-R P.842「HF無線システムの信頼性と互換性の計算」の将来の改訂に関するITU-R WP6AとWP5Cへのリエゾン文書

入力文書：6A//97（WP3L）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

勧告ITU-R P.842 は、HF帯無線システム設計に用いる信頼性と共用検討のための予測手法が記載されている勧告であるが、1980年代に作成されたものであり、現状のニーズへの適合性について関連WPIに問い合わせたものである。

情報文書であり、Notedとした。

- ・ 勧告ITU-R BS.412-9「VHF帯地上FM音声放送のプランニング基準」の改訂に向けたアップデート ～FM音声放送における超過MPX電力の干渉に対する保護レベルの測定結果～

入力文書：6A/145（仏）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

勧告ITU-R BS.412-9 には、MPX（Multiplex）電力が制限を超えるときにはFM送信機のRF出力レベルを下げる事が記載されているが、具体的な混信保護比の変化に関する数値の記載がないため、勧告ITU-R BS.412-9 の改訂草案に向けた作業文書（6A/439）が入力されている。しかし、仏は、勧告の改訂は必要としながらも、さらに検討が必要であるとしてきた（6A/485）。

入力文書（6A/145）は、仏で実施している追加実験の状況を説明するものである。タイプ（固定、可搬、移動、車載）の異なる26台の受信機を用意して実験を行っており、次回会合で報告予定としている。最新の受信機だけでなく、古い受信機でも評価すべきとの指摘（英）があった。

現状報告の情報文書なのでNotedとした。

(2) テレビジョン関連

○スペクトラムマスク

- ・ 勧告改訂案ITU-R BT.1206「地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスク」

入力文書：6A/73/Annex2（前回議長レポート），6A/111（CBS）

出力文書：6A/TEMP/47（SG6上程）

審議結果：

2012年4月会合において、日本は、ブラジル、アンゴラと共同で勧告ITU-

R BT.1206 の改訂を提案した（6A/46）。勧告ITU-R SM.1541 を帯域外放射（OoB）の一般的なマスクを規定するものとする一方、勧告ITU-R BT.1206 を周波数使用条件によって必要とされる特定マスクを記載するものとし、Annexの構成を帯域ごとからシステムごとに変更して、ISDB-Tの 6MHzにブラジルマスク、7MHzと 8MHzにGE06 をベースとしたマスクを記述する提案を行った。別途CBSが入力したATSCに関するマスク（6A/11）とともに勧告改訂草案として議長レポート添付（6A/73/Annex2）となっていた。DVB-TとDTMBのマスクはRRの規定する周波数範囲に適合してないことをエディトリアルノートに記載していた。

今会合では、DVB-TとDTMBのマスクの規定をRRの規定する周波数範囲まで拡張する修正をCBSが提案し、承認した。勧告改訂案をSG6 へ上程した。

- ・ ITU-R WP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.1541 Annex 4 への勧告ITU-R BT.1206 の追加要請」

入力文書：6A/116（日本）

出力文書：6A/TEMP/48（リエゾン文書）

審議結果：

日本は、関連する勧告ITU-R SM.1541 を所掌するITU-R WP1Aに対して勧告ITU-R BT.1206 が特定マスクを提供するものに改訂されたことを通知し、勧告ITU-R SM.1541 Annex 4 で勧告ITU-R BT.1206 を参照するように求めるリエゾン文書を提案し、WP6Aはこれを承認した。

○地上デジタル放送

- ・ 新レポート草案ITU-R BT.[DTB]「地上デジタル放送システム」に向けた作業文書

入力文書：6A/73（前回議長レポート）、6A/114（露）

出力文書：6A/TEMP/49（6A/170/Annex9）：新レポート草案に向けた作業文書、
6A/TEMP/70（6A/170/Annex12）：ラポータグループ設置

審議結果：

2012年4月会合で、露から「地上デジタル放送システムに関する新ITU-R勧告案の起草について」（6A/35）として音声・テレビジョン・マルチメディアといった様々な地上デジタル放送を1つにまとめて記述する新勧告の提案があり、どのような勧告とするか具体的な指針を示す必要があることを前回議長レポート（6A/73）に記載していた。

露は、今会合でも引き続き、新勧告草案に向けた骨子の提案を行った（6A/114）が、審議の結果、地上デジタル放送システムの最新情報を記載し、

方式選択のガイドラインを目指した新レポート草案として検討を進めることとした。この新レポート草案の起草のため、露を議長とするラポータグループを設置した。新レポート草案に向けた作業文書を議長レポートに添付とした。

・ 研究課題ITU-R 133/6「地上デジタル放送の強化」の改訂案

入力文書：6A/114（露）

出力文書：6A/TEMP/50（SG6 上程）

審議結果：

露寄書（6A/114）に基づく研究課題ITU-R 133/6「地上デジタル放送の強化」の改訂提案。近年のトレンドから、Multimedia Broadcast/Multicast Services（MBMS）を例に、consideringとdecidesにLTEなど移動サービスや他のシステムのネットワークを経由した放送コンテンツの配信を考慮する文言を追記する提案である。米からコンテンツ配信に移動サービス（携帯電話）のネットワークを利用することはWP6Aのスコープから外れているという指摘があったため、WP6Aのスコープ内で移動サービスとのハイブリッドシステムが適用できるような表現に修正したものを承認。研究課題改訂案をSG6 へ上程した。

・ 研究課題ITU-R 136/6「全世界的な放送ローミング」の改訂案

入力文書：6A/114（露）

出力文書：6A/TEMP/51（SG6 上程）

審議結果：

露寄書（6A/114）に基づく研究課題ITU-R 136/6「全世界的な放送ローミング」の改訂提案である。研究課題ITU-R 133/6と同様な主旨で、consideringに2つの項目を追記する提案であった。WP6Aのスコープ内となるように、2項目のうち「インターネットや移動通信経由でコンテンツにアクセスする」とする項目は削除、残る項目は、SG6 議長の意見による用語の認知度も考慮し、「インターネットや移動通信を経由したコンテンツ配信やローミング」とする記述を「インタラクティブシステムと既存システム」が適用できるような表現に修正したものを承認。研究課題改訂案をSG6 へ上程した。

○新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]

・ 新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]「地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング基準に向けた標準受信システムの特性」に向けた作業文書

入力文書：6A/73/Annex6（前回議長レポート）,

6A/110（CBS）, 6A/115（露）, 6A/153（EBU）

出力文書：6A/TEMP/53（6A/170/Annex2）

審議結果：

前回議長レポート（6A/73/Annex6）は、地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニングのための標準受信システムの特性を規定する新勧告草案ITU-R BT.[DTVRX]に向けた作業文書である。2012年4月会合で、CBSがSystem A（ATSC）の情報を追加した（6A/12）こと、Free TV AustraliaがAnnex1に第1世代、Annex2に第2世代の各地上デジタル放送に関する標準受信システムの特性を記載する構成とした（6A/54）ことを反映した文書となっていた。

今会合では、CBSの寄与（6A/110）に基づきAnnex1のATSC、DVB-Tの標準受信システムを規定するパラメータ（雑音指数、C/Nなど）を修正し、露の寄与（6A/115）によるDVB-T2のパラメータをAnnex2に記載して新勧告草案とした。

EBUは、3つの受信形態（固定、携帯、移動）を考慮する必要がある（6A/153）とし、次会合で受信形態毎の情報を記載する寄与を予定していると主張した。

表が空欄となっている箇所も勧告ITU-R BT.1368の改訂案と新勧告草案ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN]の修正案に寄与するデータから埋めることができるとの意見もあり、EBUの求める携帯受信や移動受信の考慮及びさらなる情報の入力をエディトリアルノートに記載した内容でSG6上程の承認をどうかを諮ったが、EBUは次会合まで待つことを提案、日本も次会合にむけて寄与を検討しているとコメントした。新勧告草案を議長レポートに添付とした。

○新レポート草案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]に向けた作業文書

- ・新レポート草案ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]「ISDB-Tにおける中継局ネットワーク構築」に向けた作業文書

入力文書：6A/127（日本）

出力文書：6A/TEMP/73（6A/170/Annex11）

審議結果：

日本から提案した、デジタル中継局のネットワーク構築に関して、ISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整などの日本の経験をレポートとしてまとめることを目指した文書ITU-R BT.[ISDB-T_RELAY]である。日本は、今後、干渉の種類や、マイクロ波・UHF放送波による中継回線の構築のための検討手法例などを寄与する予定である。新レポート草案に向けた作業文書を議長レポートに添付した。

○カバーエリアの客観評価関連

- ・ 勧告改訂草案ITU-R BT.1735-1「勧告ITU-R BT.1306 で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」

入力文書：6A/103, 6A/105（豪）

出力文書：6A/TEMP/54（6A/170/Annex5）

審議結果：

勧告ITU-R BT.1735-1 は、アナログテレビジョンのカバーエリア評価の際に用いている受信品質の 5 段階の評価に準じて、デジタルテレビジョン（DVB-T）においても 5 段階あるいは 3 段階の受信品質の客観的評価方法を提供するものである。

豪は、勧告ITU-R BT.1735-1 のAnnex 1 の第 2 節に記載の「送信サイトでのMER値が決められた値、例えば 36dB、を下回る場合には、測定をやめる」から、「例えば 36dB」という事例部分の削除を求めた（6A/103）。豪では、送信サイトにて直接MER値を測定する代わりに、受信サイトで受信電界強度とセットでMER値を測定している。豪で実際に測定を行った結果によれば、親局、中継局など送信所のグレードによって、3 段階のMER値（39dB、36dB、33dB）に向かって飽和する結果が得られている。この結果が示すように、MERが 33dB程度で運用されている中継局もあり、たとえ事例としても、実情に合わないものが記載されるのは困るとしている。

「例えば 36dB」の記載削除と関連する脚注の修正を承認。勧告改訂草案へ向けた作業文書を議長レポートに添付した。

豪は別に、レポートITU-R BT.2252 の情報更新と合わせ、豪が地デジ化を進める際に得た知見から勧告ITU-R BT.1735 の将来の改訂に向けたさらなる研究を提案した（6A/105）。

- ・ レポートITU-R BT. 2252「システムAおよびBの地上デジタルテレビジョン放送信号のカバーエリアの客観評価」の改訂草案

入力文書：6A/105（豪）

出力文書：6A/TEMP/55（議長レポート添付）

審議結果：

レポートITU-R BT.2252 は、2012 年 4 月会合で改訂が承認された勧告ITU-R BT.1735-1「勧告ITU-R BT.1306 で規定された地上デジタルテレビジョン放送システムBの放送信号の受信品質の客観的評価方法」に関連した具体的な事例を扱うレポートであり、同じ 4 月会合で承認されたものである。レポートのPart 2（システムB）の 2.2.3 節は、豪での野外測定の結果を記載している。

豪は、2.2.3 節を同じ 2 章のAnnex Aに移動することとAnnex BとCを追加し

て情報の更新を行うことを提案した（6A/105）。豪があと 2 回の寄与を予定しているとしたため、レポート改訂草案を議長レポートに添付した。

ODTTBハンドブックの改訂提案

- ・ DTTBハンドブック「VHF及びUHF帯地上デジタルテレビジョン放送」の見直しに関する提案

入力文書：6A/137（Free TV Australia）

出力文書：6A/TEMP/52（議長レポート記載），6A/TEMP/56（SG6 上程）

審議結果：

Free TV Australiaは、地上アナログ放送の終了後のDigital Dividendに地上デジタル放送（DTTB）をリスタック（高密度の割り当て）する際の豪での経験から、現在のDTTBハンドブック（2002 年策定）は記述が不十分であり、改訂が必要であることを説明した（6A/137）。DTTBハンドブックのPart 2 第5章に「5.4 DTTB受信環境」（勧告ITU-R SM.1753 の定義に基づくrural、suburban、urbanの区分の細分化を含む）を追加する改訂案と、今後、各主管庁におけるDTTB導入の経験から得られた知見（導入成功例、その逆、ばらつきの考慮など既存勧告に記載された個々のパラメータに係る情報）の寄与を求めていくことを提案した。

新チャプターをハンドブックの改訂案としてSG6 へ上程する一方、主管庁への寄与を勧奨することを議長レポートに記載することを承認した。

なお、現在審議が進められているDTTB導入ハンドブックとの違いを確認する発言がSG議長から出たが、DTTB導入ハンドブックの発行時期が未定のため、既存のハンドブックの部分改訂を行うとした。

ハンドブック改訂案をSG6 へ上程した。

ODVB-T/DVB-T2 受信機における混信保護比と過入力閾値

- ・ 勧告TU-R BT.1368-9「地上デジタルテレビジョンサービスの混信保護比を含むプランニング基準」の改訂案

入力文書：6A/73/Annex4（前回議長レポート），

6A/123（米），6A/141（TDF），6A/159（NDR，ZDF）

出力文書：6A/TEMP/58（SG6 上程）

審議結果：

地上デジタルテレビジョンサービスのプランニング基準を規定する勧告ITU-R BT.1368-9 改訂の審議である。Annex 2(DVB-Tのプランニング基準)の1.5.3 節及び関連のAppendixに記載のLTE基地局及びユーザ端末（UE）からシステムB（DVB-T）の受信機への干渉（混信保護）について情報を更新するもので

ある。2011年10月会合及び2012年4月会合で審議が行われ改訂草案を前回議長レポート（6A/73）に添付（Annex 4）していた。

今会合では、前会合で課題とされたLTE UEの帯域外放射（OoB）の扱いについて議論を継続した。TDFは、妨害波（LTE）信号特性は重要な測定条件であり、関連文書を精査した結果として、LTE-UEのOoB制限値 $-65\text{dBm}/8\text{MHz}$ と最大出力 23dBm （隣接チャンネル漏えい電力比（ACLR） $=88\text{dB}$ 相当）を明記するよう提案した（6A/141）。NDRとZDFは、関連文献より、第1と第2隣接チャンネルにおけるLTE UEのACLRを定義し、それ以外は、 88dB （欧州でのLTE UEに適用可能な限界値 $-65\text{dBm}/8\text{MHz}$ より算出）とする案を提示した（6A/159）。また、他のACLRに対しては、新しいAppendixに換算方法を記載することとした。

これらを受け、該当する混信保護比の表を更新し、表に記載の混信保護比が適用できるACLRの条件を明記した。また、換算方法を記載するAppendixを設け、LTE UEのACLRが表に記載の条件とは異なる値をとる時には、表の注意書きからAppendixに導き混信保護比の値を補正することを記載する修正を行った。

この他、米による1.5.3節の表題と第1段落のエディトリアル修正（6A/123、LTE OFDMA及びSC-FDMAが各々基地局（base station）とユーザ端末（user equipment）に対応するものであること明記するとともに、測定がレポートITU-R BT.2215に記載の手法によったことを明記）を反映し、修正案（6A/TEMP/58）を勧告改訂案として承認、SG6へ上程した。

・ レポートITU-R BT.2215-2「テレビジョン放送受信機における混信保護比と過入力閾値の測定」の改訂案

入力文書：6A/134（EBU, Free TV Australia）,
6A/154, 6A/155, 6A/156, 6A/157（ソニー）,
6A/159（NDR, ZDF）, 6A/160（BBC）

出力文書：6A/TEMP/66（SG上程）

審議結果：

EBUとFree TV Australiaは、新勧告草案ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN]の審議に関し、レポートITU-R BT.2254「DVB-T2の周波数・ネットワークプランニングの概況」及びレポートITU-R BT.2215「テレビジョン放送受信機における混信保護比と過入力閾値の測定」を原点として検討を行うものとし、今会合では、JTG 4-5-6-7の共用検討への寄与に係る情報の抽出をすべきとの見解を示した（6A/134）。

ソニーは、DVB-T2受信機の混信保護比と過入力閾値に関し、2011年4月

会合入力（6A/528）に追加する試験を他の 3 社（フィリップス、サムソン、パナソニック）と共同で実施し、LTE基地局、DVB-T2、LTE UEの各々からの干渉に対する混信保護比、過入力閾値の試験データを計 14 台（シリコン 11 台、カン 3 台）の受信機について分析した（6A/154, 6A/155, 6A/157）。また、LTE基地局からの信号の干渉に関しDVB-T2 のチャンネルが異なる場合についても同様に調査し、混信保護比の 90%値、過入力閾値の 10%値との関係を確認した（6A/156）。

NDRとZDFは、LTE UEの帯域外放射（OoB）の扱いについて、新勧告ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN]においても、勧告ITU-R BT.1368-9 改訂と同様なアプローチを提案した（6A/159）。

BBCは、LTE UEの送信がその通信負荷の変化によりバースト的に行われることを考慮して、LTE UEから地上デジタル放送（DVB-T2）受信機への混信保護比の調査を実施したところ、継続した調査が必要としながらも、LTE UEの通信負荷が低い場合に、より混信保護比が大きく劣化することを報告した（6A/160）。このような間欠動作の過渡状態は受信機のAGCに影響を与えるため、連続送信時の平均値で議論するよりも、過渡状態（間欠動作時）の混信保護比で議論を進める必要があることが指摘された。また、UEの過渡状態について、2 つの事象を考慮しなければならないとした。一つは受信機のAGCの過渡応答に関わるもので、もう一つはUEの送信機の過渡応答に関わるものである。

ソニー（6A/154～6A/157）とBBC（6A/160）の試験結果をAnnex 2 にエンベッドした（埋め込んだ）修正案（6A/TEMP/66）をレポート改訂案として承認し、SG6 へ上程した。

- ・新勧告案ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN] 「VHF/UHF帯第 2 世代地上デジタルテレビジョン放送システムの混信保護比を含むプランニング基準」

入力文書：6A/619/Annex9（前々回議長レポート），6A/160（BBC）

出力文書：6A/TEMP/72（SG上程）

審議結果：

前々回議長レポート（6A/619/Annex9）は、第 2 世代地上デジタルテレビジョン放送システム（DVB-T2）のプランニング基準に関する新勧告草案に向けた作業文書である。前回会合では関連する寄与が無く、そのまま継続審議となっていた。

今会合では、勧告ITU-R BT.1368-9 改訂とレポートITU-R BT.2215-2 改訂での議論を踏まえ、BBCのLTE UEの過渡応答による影響の試験結果（6A/160）をAppendixに、ACLRの考え方については注釈を付加した。また、シリコン

チューナーの試験結果を主として記載し、調査受信機台数の少ないカンチューナーについてはAppendixにまとめることとした。また、混信保護比の90%値、過入力閾値の10%値を追記した。

修正案（6A/TEMP/72）を承認。新勧告案をSG6へ上程した。

○新レポート草案BT. [DTTBCELLID]の課題

- ・新レポート草案BT. [DTTBCELLID]「DVB-Tの大規模SFNにおける送信機識別の利用」

入力文書：6A/73/Annex8（前回議長レポート）,
6A/104（豪）, 6A/128（Rai Way）, 6A/158（ソニー）

出力文書：6A/TEMP/52（議長レポート記載）

審議結果：

前回議長レポート（6A/73/Annex8）は、DVB-T信号中のTransmission Parameters Signaling（TPS）に送信所（セル）IDを埋め込むことでエリア内におけるSFNとマルチパスを識別する方法を示す新レポート草案である。

今会合では、2012年4月会合で一部主管庁から懸念が提示されていた受信障害について審議を行った。

豪は、異なるセルIDを使用した場合、送信機のファームウェアのバージョンの違いにより同国で使用されるレガシー受信機の一部で受信障害が発生していることを取り上げ、新レポート草案に賛成できないとした（6A/104）。伊のRai Wayは、一部の受信機でTPSを伝送路推定に使っている可能性があり、現在調査中であるとコメントした（6A/128）。ソニー他3社は、2012年4月会合の審議を受け、受信機の動作テストを実施したところ、異なるセルIDのTPSを受信した場合、試験した13台の受信機中2台で問題が発生したと報告した（6A/158）。この2台は、有名企業の復調ICを搭載し、セルIDの問題以外では厳しい伝搬環境でも問題なく動作するものである。

上記3件の報告を受け、SFN網での伝搬の調査に異なるセルIDを使用する手法を使うのは受信障害発生危険を伴うと結論した。新レポート草案の扱う技術に関しては、今後審議しない旨を議長レポートに記載することを承認した。

○その他

- ・WP6Aへのリエゾン文書「寒・暖の海洋伝搬における干渉評価」

入力文書：6A/96（WP3K）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

入力文書（6A/96）は、2012年4月会合にITU-R WP3Kへ送付したリエゾン文書（3K/4）に対する、ITU-R WP3Kからのリエゾン文書である。WP6Aの提供する、特に非温暖地域の測定データは、ITU-R SG3 の行う伝搬モデルの開発、改善、認証に有用であり、フォーマット変換などはITU-R SG3 で用意するので、データフォーマットや測定条件についての制約を気にする必要がないとしている。一方、WP3Kでは測定データを管理するためのデータベース‘DBSG3’を整備していて、実測データのフォーマット、伝搬測定の長期観測に関する一般的な注意事項について回答している。

データベースへのリンクやガイドラインなどの情報を提供する文書であり、Notedとした。

- ・リエゾン文書「勧告ITU-R SM.1875『DVB-T のカバレッジ測定とプランニング基準の検証』」

入力文書：6A/90（WP1C）

出力文書：6A/TEMP/57（リエゾン文書）

審議結果：

入力文書（6A/90）は、ITU-R WP1Cから送付されたリエゾン文書であり、同WPが2010年春に勧告化した勧告ITU-R SM.1875「DVB-T のカバレッジ測定とプランニング基準の検証」について、WP6Aに意見を求めるものである。

豪は、DVB-Tのカバーエリアの客観的評価について、WP6Aでは、最近勧告ITU-R BT.1735の改訂を行っていること、新レポートITU-R BT.2252が関連する情報を提供していることを伝えるリエゾン文書を提案。リエゾン文書として承認した。

- ・WP1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, JTG4-5-6-7 へのリエゾン文書「ITU-Rでの干渉・共用検討のための伝搬予測法のハンドブック」

入力文書：6A/93（WP3M）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

「ITU-Rでの干渉・共用検討のための伝搬予測法のハンドブック」が完成したことを、ITU-R WP3Mが伝えるものである。情報として、Notedとした。

- ・WP6Aへのリエゾン文書「ITU-Rにおける干渉・共用検討のための電波伝搬予測手法に関するハンドブック」

入力文書：6A/98（WP3M）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

「ITU-Rでの干渉・共用検討のための伝搬予測法のハンドブック」の表 4.3-1 に記載されている保護基準例に、勧告ITU-R BS./BT.1895 を含める修正を行ったことを、ITU-R WP3Mが伝えるものである。情報として、Notedとした。

- ・ ITU-T 映像音声メディアのアクセシビリティに関するフォーカスグループ（FG AVA）の進捗報告

入力文書：6A/84（ITU-T FG AVA）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-T FG AVAが、ITU-R SG6 に情報として提供したものである。ITU-T FG AVAの活動の進捗を報告するものである。Notedとした。

- ・ ICTのAccessibility Servicesの世界標準採択に関するCWG-WCITへの提案

入力文書：6A/86（ITU-T FG AVA）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-T FG AVAがその親会であるITU-T SG 16 にアクションを求めて行ったリエゾン文書であり、ITU-R SG6 へは情報として提供された。本年 11 月にドバイで開催されるWorld Conference on International Telecommunicationsに組織されるCouncil Working Group (CWG-WCIT)でアクセシビリティについて審議を行って欲しいとするものである。Notedとした。

- ・ WP6Aへのリエゾン文書「隣接チャンネル漏えい電力比（ACLR）と隣接チャンネル選択性（ACS）の定義」

入力文書：6A/87（WP1A）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

2011 年 10 月会合でWP6AがITU-R WP1Aなどに送付したリエゾン文書に定めるものである。ITU-R WP1Aは、WP6AによるACLRとACSの定義を検討した結果、この定義を支持することを伝えている。Notedとした。なお、WP6Aは、この定義を使って新レポートITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]を作成した。

- ・ ITU-R WP6Aへのリエゾン文書「『放送業務への干渉の評価方法』での場所率の定義」とITU-R WP3Kへのリエゾン返書「短期干渉波の修正提案」

入力文書：6A/95, 6A/162（WP3K）

出力文書：6A/TEMP/59（リエゾン文書）

審議結果：

ITU-R WP3Kは、最近のEBUの寄与（3K/22）によりWP6Aが検討を進めている新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]について知り、コメントを送付してきた（6A/95）。ITU-R WP3Kでは勧告ITU-R P.1546 や勧告ITU-R P.1812 でLocation variabilityを定義して電界強度の量的な変動を表す指標としてきたことを説明し、WP6Aには新レポート草案で使われている「場所率（Location probability）」を定義する自由があるとコメントしている。同時に、地上デジタルテレビジョン放送（DTTB）の解析の中で定義される場所率で使用されている不要信号の1%時間による受信電力の増加の仮定は、過度な保護を与えることを懸念している。

ITU-R WP3Kは、この懸念についてコレスポンスグループ 3K-4 を設置して行った検討の進捗を報告してきた（6A/162）。まだ検討は途中段階であるが、WRC-15 の検討に関係があるため、WP6Aへリエゾン文書を送付した。検証数や地理的条件が限定されているが、距離の異なる2つの送信点からの海上伝搬の電界強度を1つの受信点で長期測定した事例において、5%や10%時間の結果から2つの電界強度に相関がある可能性が高いにも拘らず1%時間では低く観測されていることを1例として報告している。

そこで、WP3Kへのリエゾン返書を作成して、その中で、

- ・測定例（6A/162）に示されている測定結果は（その周波数や伝搬環境など）放送業務が検討しているものと前提条件が異なる上、放送業務ではST61, GE84, GE06等で規定されている条件で数十年にわたり検討を続けている。
- ・放送との共用検討には100km以上離れた大電力の送信局からの干渉や、逆に放送の送信所に近い場所に設置された基地局からの干渉を考慮する必要がある。
- ・複数干渉波からの干渉を扱う場合は最悪値で検討するべきであり、ITU-R WP3Kの今後の検討においても、非常に多くの携帯基地局からの干渉が積算されて干渉波となる状況を十分考慮する必要がある。

ことを指摘し、さらに追加の検討を求める内容とした。リエゾン文書のstatusはFor actionとし、送付先はITU-R WP3Kの他、For informationとしてJTG4-5-6-7, ITU-R WP5A, 5C 及び5D をコピー先に含めることとした。

作成された文書（6A/TEMP/59）をリエゾン返書として承認した。

3.2 保護(SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、18 件の入力文書について審議し、4 件の出力文書を準備した。3 件のリエゾン文書と 1 件の議長レポート添付（新レポート草案に向けた作業文書）を作成した。

○コグニティブ無線システム

- ・新レポート草案ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS]「470-790MHz帯におけるコグニティブ機器から放送サービスへの干渉検討」に向けた作業文書

入力文書：6A/73/Annex 11（前回議長レポート），6A/124（米）

出力文書：6A/TEMP/44（6A/170/Annex8）

審議結果：

前回会合の議長レポート（6A/73/Annex 11）は、前回会合で新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]に基づく干渉評価を用いた露でのケーススタディとして入力されたもの（6A/34）である。露におけるコグニティブ機器の利用可能な周波数帯の検討結果であり、混信保護比、出力、設置方法などに多くの仮定をおいた検討であるが、モスクワ地区ではコグニティブ機器の利用可能周波数がないとしている。露は、今後追加の寄与を予定しており、今会合では作業文書として維持することを希望した。

米（6A/124）は露の検討結果が、コグニティブ無線機器について、「周辺環境をセンシングして混信を回避できる機種」とそうでない機種（場所情報やデータベース情報に依存する機種）を同じ扱いとしており、勧告ITU-R SM.2152 が定める「コグニティブ無線機器」の定義に沿った対応が必要と提案した。そして、米では、既にコグニティブ無線がTVに与える干渉を防ぐために、必要な離隔距離（required separation）を定めていること、米の基準は、露が主張する基準よりも緩いが、TVを有害な干渉から保護できることを主張した。

本文書はまだ作業文書の状態であり、コグニティブ無線に関しては今後さらに検討を進めていく必要がある旨のカバーページを作成して、新レポート草案に向けた作業文書として議長レポートに再添付とした。

- ・ITU-R WP5AからITU-R WP5A、WP5B、WP5Dへのへのリエゾン文書「コグニティブ無線における今後の研究について」とITU-R WP5A及びSG5 内の関連するWPへのリエゾン返書

入力文書：6A/83（WP5A）

出力文書：6A/TEMP/43（リエゾン文書）

審議結果：

ITU-R WP5Aにおけるコグニティブ無線の検討スケジュールを示しているもので、SG5 に対するリエゾン文書（WP6Aに対しては情報文書）である。

放送に割り当てられた周波数をコグニティブ無線システムが国境付近で利用する場合には、WP6Aからの支援が必要であり、また、WP6Aがコグニティブ無線システムを理解する目的で、リエゾン返書を検討した。

WP6Aは新レポート草案ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS]に向けた作業文書を挙げ、コグニティブ無線に関するWP6Aの最近の活動を伝える一方、コグニティブ無線に関するWP5A側の検討状況の情報提供を歓迎するとした。

米の提案で、コピーをITU-R WP5Cと 5D、ITU-R WP1Bに送ることとした。リエゾン文書の提案を承認した。

・ ITU-R WP1A及びWP1Bからのリエゾン返書「コグニティブ無線における今後の研究について」

入力文書：6A/92（WP1A, WP1B）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

コグニティブ無線の使用に関する研究について、ITU-R WP1AとWP1Bの連名で出されたリエゾン文書である。周波数エンジニアリング技術を扱うWP1Aと周波数マネジメント方法と経済的な戦略を扱うWP1Bが、コグニティブ無線における今後の研究についてのスコープおよび既存の関連勧告及びレポートについて紹介し、関連するWP（4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 6B, 6C, 7B, 7C, 7D）に対して、更なる関連情報の提供を求めている。

Notedとした。

○無線装置とケーブルTVシステム間の干渉 新勧告案K.mhn

・ ITU-T SG9, ITU-R WP5D, ITU-R WP6Aへのリエゾン返書「新勧告案K.mhn」

入力文書：6A/75（ITU-T SG5）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-T SG5 にて議論されている新勧告案K.htm「無線機器と、ケーブルまたは有線接続されたブロードバンド機器とTV機器との間の干渉軽減技術」について、ITU-T SG5 へリエゾンを出したITU-T SG9 とITU-R WP5Dに対するリエゾン返書である。ITU-T SG9 とITU-R WP5Dに対して謝意を述べると共に、指摘点を踏まえて単語の修正や用語の定義などを行った、新勧告案K.mhn（TD1134rev1）の修正案を添付している。この修正案に対するコメントを求めている。

後述のPLT 議題に関するSG6 ラポータの報告（6A/142）のコメントを参考に議論した。Notedとした。

・ ITU-T SG9 からのリエゾン返書「新勧告案K.mhn」

入力文書：6A/77, 6A/78, 6A/79（ITU-T SG9）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-T SG5 からのリエゾン返書（6A/75）と同様に、ITU-T SG5 にて議論されている新勧告案K.mhn（PLTは対象外）に関するものである。いずれもITU-T SG9 が出力したリエゾン返書である。

入力文書（6A/77）は、ITU-T SG5 に送付されたリエゾン返書である。SG5 に対して、タイトルの変更および無線機器のチェック手続きの修正を提案している。WP6Aに対しては情報として送付している。

入力文書（6A/78）は、ETSI ATTM-AT3 に送付されたリエゾン返書である。WP6Aには情報として入力されている。ETSI ATTM-AT3 に対し、K.mhnに関するETSI ATTM-AT3 の活動を紹介するリエゾン文書に謝意を述べるとともに、この話題についてはITU-T SG5 と直接連絡を取り合うことが重要と指摘している。

入力文書（6A/79）は、WP6Aの有線および無線通信システムの共存に関するリエゾン文書への返答である。2012年5月のITU-T SG9 会合で検討した結果、ITU-T SG9 勧告は、無線機器とケーブルTV間の妨害や干渉を軽減する技術の利用が必要であることが分かったとしている。

後述のPLT 議題に関するSG6 ラポータの報告（6A/142）のコメントを参考に議論した。ITU-T SG9 は、ITU-T SG5 に対し、家庭での高性能ケーブルTVや広帯域配信システムへの様々な干渉源の考慮を求めていると理解し、SWGでは、PLT以外に無線がケーブルに与える問題を議論したが、特に大きな心配はないとした。英が低品質の同軸ケーブルでのクロストークに潜在的な問題があるとしたが、特にアクションはなく、Notedとした。

○無線通信システムと有線システム（PLTを含む）間の干渉

・ PLTに関する現状報告

入力文書：6A/142（ラポータ）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

PLT議題に関するSG6 のラポータがPLTに関するITU内外の動向について調査した結果を報告するものである。ITU-R SG1 会合（2012年6月）、ITU-T

SG15 会合（2012 年 9 月）、有線通信関係のWP6A寄与文書のレビューを実施し、WP6Aが今後取りうる活動について見解を述べている。情報文書として Notedとした。

・ ITU-R WP4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7C, 7Dへのリエゾン文書

「有線通信（PLT含む）と無線通信システムの共用状況」

入力文書：6A/88（WP1A）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-R WP1Aが、ITU-R WP5B、WP6A、ITU-T SG 15 から各々送付されたリエゾン文書に応える形で送付したリエゾン文書である。WP1AはPLTを含む有線・無線通信の共用を検討しており、その取り組み状況を報告している。英は、WP1AがPLTを扱っていることは興味深いとして、寄与の可能性を言及したが、現在は具体的な対応がないとした。Notedとした。

○誘導システムからの保護

・ リエゾン文書「新勧告案ITU-R SM.[IND_SYSTEM]『30MHz未満の周波数を用いる誘導システムと無線通信業務との離隔距離の計算』へのコメント」

入力文書：6A/117（日本）

出力文書：6A/TEMP/46（リエゾン文書）

審議結果：

ITU-R SG1 が作成した新勧告案ITU-R SM.[IND_SYSTEM]（現在は勧告ITU-R SM.2028）は、誘導システム（IHクッキング、誘導を利用した地下鉄の無線設備など）から既存業務を保護するための離隔距離の計算法が示されている。同勧告には、「被干渉波のレベルを環境雑音レベル以上とするもの」と「被干渉波のレベルは最小電界強度とSNRに基づくもの」という 2 つの基準が記載されているが、放送保護基準を定めた勧告ITU-R BS./BT.1895 による $I/N = -20\text{dB}$ が考慮されていない。

WP6Aは、これを考慮するように日本から提案されたWP1Aへ送るリエゾン文書を承認した。

○航空機の地上型補強システム（GBAS）

・ ITU-R WP6A へのリエゾン文書「勧告改訂草案ITU-R M.1841『87～108MHz帯におけるFM音声放送と、108～117.975MHz帯における航空機の地上型補強システム(GBAS)との両立性』」とITU-R WP5B へのリエゾン返書

入力文書：6A/80（WP5B）

出力文書：6A/TEMP/45（リエゾン文書）

審議結果：

2010年3月のICAOの会議において、勧告ITU-R M.1841で規定するGBASのカバレッジ高度と、勧告ITU-R SM.1009で規定されるILSについて比較した結果、GBASのカバレッジ高度の値に疑念が出たため、WP5Bは勧告ITU-R M.1841の改訂を検討している。この検討に際し、WP6Aに対してコメントを求めるものである。

FMラジオ帯のすぐ上側のVHF帯で動作する勧告ITU-R M.1841の改訂が行われることから議論があったが、英は、GBASは空港の航空機進入誘導に用いられる指向性の鋭いレーダーであり、出力は大きくなく問題は無いとの認識を示した。そのため、GBASによる干渉はFM音声放送への影響がないことを伝えるリエゾン文書を作成し、承認した。

○聴覚障害者向け無線支援装置

- ・ITU-T SG16、FG-AVA及びJCA-AHFへのリエゾン返書「VHF及びUHFの周波数域で動作する聴覚障害者向け無線支援装置の技術的特性」

入力文書：6A/81（WP5A）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

WP5Aが研究課題ITU-R 37-6/5の下で検討を行っている「VHF及びUHFの周波数域で動作する聴覚障害者向け無線支援装置の技術的特性」に関する情報文書を添付して、ITU-T SG16とFG-AVAがリエゾン文書（文書5A/792と文書5A/2）を送付したことに対するITU-R WP5Aのリエゾン返書である。

ITU-R WP5Aは、WPが世界無線通信会議（WRC）に対し周波数の割り当てを提案する立場にないことを説明するとともに、添付されている技術報告案ETSI TR 102 791 V1.2 (2011-11)が、聴覚障害者への支援装置用に割り当てがある周波数帯を除外していることに疑問を投げかけている。

WP6Aへは情報共有であり、Notedとした。

- ・ITU-R WP5Aへのリエゾン返書「VHF及びUHFの周波数域で動作する聴覚障害者向け無線支援装置の技術的特性」

入力文書：6A/119（ITU-T FG AVA）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-R WP5AがITU-T FG AVAに送ったリエゾン文書への回答である。周波数分配についてはWRCが所掌しているという回答に理解を示した上で、現在

の非常に逼迫した周波数事情の中では、利用可能な帯域は 2.4GHz帯ぐらいしか見つからなかったとしている。また、ITU-R WP5Aが指摘した 863-865MHzの周波数は移動体通信への割当が検討されている 790-862MHzの帯域に隣接しており、聴覚障害者向けの無線支援装置に使用した場合、移動体通信の基地局及び移動局からの帯域外輻射が引き起こす干渉により無線支援装置を利用する聴覚障害者に厳しい聴覚障害を与えることを懸念していることを伝えている。

様々な帯域で周波数を探しており、注意してみる必要があるとの意見が英からあったが、放送の周波数にすぐに脅威を与えるものではないとして、継続して見ていくことを前提に、Notedとした。

○電波伝搬予測手法に関するハンドブック

- ・ WP6Aへのリエゾン文書「ITU-Rにおける干渉・共用検討のための電波伝搬予測手法に関するハンドブック」

入力文書：6A/98 (WP3M)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

WP6Aがリエゾン文書 (3M/16) で情報提供した勧告ITU-R BS./BT.1895 による地上放送保護基準をITU-Rにおける干渉・共用検討のための電波伝搬予測手法に関するハンドブックの表 4.3-1 に記載する修正を行ったことを知らせるリエゾン返書。ITU-R WP3MがWP6Aに対して謝意を表したものである。情報であり、Notedとした。

○その他

- ・ ITU-R 決議 60 に関するリエゾン文書

入力文書：6A/76 (ITU-T SG5)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

ITU-R 決議 60 「ICT技術やシステム利用による環境保護のための消費エネルギー削減および気候変動軽減」について、ITU-T SG5 も同様の検討を行っており、ITU-Rとの情報共有や共同検討の協力を提案している。無線の周波数を注意深く利用することで環境への影響を最小にしようとするものとする。将来のプロテクション議題とし、Notedとした。

- ・ CISPRとITU-R WP4A、4C、5A、5B、5C、5D、6A、7B、7C、7Dへのリエゾン文書「無線業務保護データベース」

入力文書：6A/89 (WP1A)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

CISPRが作成している無線業務保護データベース構築に関するITU-R WP1AからCISPRへの提案である。各WPから指摘されているITU-R文書の改訂や更新とデータベースの更新タイミングの不一致によるエラーなどの問題点を示すとともに、無線業務保護に関するITU-R勧告リスト (各WPからの提案のもの) をCISPRが参照すべきであることや無線業務は熱雑音に対し-20dBを超えるEMC妨害に耐えられないことを伝えている。無線システムへの干渉を避けるためのステップと考える。ここでは、さらなるアクションはなしとし、Notedとした。

- ・ ITU-R WP6Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.1896『世界または地域におけるショートレンジデバイスの使用周波数の調和』について」

入力文書：6A/91 (WP1B)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

WP6AがITU-R WP1Bに送付したリエゾン文書に対するリエゾン返書である。勧告ITU-R SM.1896「世界または地域におけるショートレンジデバイスの使用周波数の調和」について、ITU-R WP1Bは2012年6月の会合において議論し、将来の改訂においては、WP6Aからの情報を生かしていくとしている。情報であり、Notedとした。

3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3では他の業務との共用に関する審議を行った。3つのDG (ドラフティンググループ) を作成した。

SWG3 DG1	WRC-15 議題	議長：R. Bunch氏 (豪)
SWG3 DG2	共用検討 (Sharing Studies) 手法	議長：T. Vieracker氏 (NDR)
SWG3 DG3	共用検討 (Sharing Studies) に向けた特性とパラメータ	議長：W. Sami氏 (EBU)

27回のセッションを開催し、42件の入力文書を審議し、9件の出力文書を作成した。SWG議長 (R. Bunch氏) は多くの主管庁・セクターメンバーが参加して良い議論ができたとした。

(1) WRC-15 議題

○研究の進捗の継続した提供

- ・ WP5DからJTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書及びWP6AからWP5Dへのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.1 及び 1.2 に関する検討」

入力文書：6A/163, 6A/164, 6A/165, 6A/167 (WP5D)

出力文書：6A/TEMP/60 (リエゾン文書)

審議結果：

WP5Dは、WRC-12 決議 232 と 233 に従い、WP6Aに対し 4 通のリエゾン文書を送付した。

1 通目 (6A/163) は、WRC-15 議題 1.1 に係るもので、Attachment 1 で 470 MHz～6,425 MHzにおけるIMTに適切な周波数帯域を提案、Attachment 2 で IMT技術の最近の進展について伝えている。

2 通目 (6A/164) も、WRC-15 議題 1.1 に係るものであり、こちらは周波数要求の調査に関するものである。ITUメンバー等に対して周波数要求に関する調査を行った結果をAttachmentとして提供している。Attachemetの中には、米、豪、露、日本、印の他、Hauwei、Ericsson等からの回答結果が記載されている。また、検討を進める目的で、勧告ITU-R M.1768 の改訂が進められていることを伝えている。

3 通目 (6A/165) は、WRC-15 議題 1.2 に係るものであり、ITU-R WP5Dが第 1 地域の 694 MHz～790 MHz の周波数帯に適用するIMT用のチャンネル配列を検討していることを伝えるものである。この文書はWP6Aへはコピーとして送付されたものである。

4 通目 (6A/167) は、WRC-15 議題 1.2 に係るものであり、検討はまだ途中で特定の周波数帯に関する見通しを現在持っていないとしながらも、将来の追加周波数帯の要求は 96 MHzを超えることを示唆している。この文書もWP6Aへはコピーとして送付されたものである。

また、WP5DへWRC-15 に関する研究の進捗の継続した提供を求める要求を行うリエゾン文書を送付することが審議された。米からWP5DがWP6Aに情報文書を送ったことに謝意を表する返信の必要があるかと疑問が出されたが、引き続き情報の提供を依頼する意図もあるので最終的に送付することで合意した。

出力文書 (6A/TEMP/60) のリエゾン文書送付を承認した。(StatusはFor Actionとした。)

○放送業務の周波数要求

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する放送業務の周波数要求」

入力文書：6A/73/Annex13, 6A/73/Annex15（前回議長レポート）,
6A/106, 6A/108（ラポータ）, 6A/113（露）,
6A/129（Rai Way）, 6A/146（イラン）, 6A/152（EBU）,
6A/165, 6A/167（WP5D）

出力文書：6A/ TEMP/61（リエゾン文書）

審議結果：

議長レポート（6A/73/Annex13）は、WRC-15 議題 1.2 における地上テレビ放送の周波数要求に関するアンケート（JTG 4-5-6-7 に提供する放送の周波数要求について第 1 地域を対象に調査するために前回WP6A会合で作成されたもの）である。アンケート項目として、将来の周波数利用の状況、見込み（デジタル放送の方式、伝送容量など）などを挙げている。アンケートの〆切は 7 月 31 日となっており、各国からの回答はWP6AのWRC-15 議題 1.2 関連ラポータグループのシェアフォルダにアップロードされた。

WRC-15 関連ラポータグループは、その作業進捗レポート（6A/106）、地上テレビ放送の周波数要求に関するアンケート（6/LCCE/78）に対する結果（6A/108）を報告した。114 の主管庁にアンケートを送付し、35 の主管庁と 10 のセクターメンバーから回答があった。

もう 1 件の議長レポート（6A/73/Annex15）は、「WRC-12 決議 232 における放送に関する周波数要求に関する考察」で、JTG 4-5-6-7 へ送付するリエゾン文書に向けた作業文書である。地上テレビ放送の概要、デジタル化、地上テレビ放送の将来などを記載するとともに、WP6Aで実施するアンケート結果に基づく、周波数要求を追記する予定としている。

Rai Wayは 6A/129 において、ラポータの報告（6A/108）にあるアンケート（6/LCCE/78）の集計結果に対して、正確なYes/Noの回答数を記載するように修正する提案を行った。

イランは 6A/146 において、アンケート（6/LCCE/78）の結果を支持し、アンケート結果におけるイランの現状と意見を述べた。放送は主に地上波で行っており、14 の隣国があること、地形的に厳しい環境の中、470～862 MHzのほぼ全ての周波数を使っているとしている。

EBUは 6A/152 において、ラポータの報告（6A/108）は適切であり、WP6Aでの周波数要求のまとめの開始点になることを期待するとした。

WP5Dは、2 つのリエゾン文書（6A/165, 6A/167）でWRC-15 議題 1.2 に関し、第 1 地域の 694 MHz～790 MHz の周波数帯に適用するIMT用のチャンネル配列及び 96 MHzを超える追加周波数帯の要求を示唆している。

露は 6A/113 で、JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書（前回議長レポート 6A/73 Annex.15）に対する修正提案を行った。BBCの意見（6A/40）を更に強め、放

送帯域を削減することは現在及びUHDTV等の将来の放送に対して重大な影響を及ぼすとして、移動業務に周波数を移行することに強く反対するコメントを追加している。現在の地上放送のプラン（GE06）の改訂は、とても困難な作業であり、成功する保証はないとしている。

以上を確認後、リエゾン文書のドラフト作業を行った。

ANNEXの最初にExecutive Summaryを記載し、放送は、災害時、教育、健康、農業において重要な情報源となり十分な周波数が必要であるとした。また、露は、自然災害の警戒警報の通知でも有効と提案し、追記された。

ITUデータベース（BR IFIC）から抽出した「GE06 におけるデジタル Assignmentの状況」により、DVB-Tではアナログよりも出力が小さい局が多いこと等が説明され、イランはダクト等の異常伝搬を考慮すると、2015 年以降もアナログテレビ放送を継続しなければいけない国があり、新たに周波数を開放することが困難であることを指摘した。また、PMSE（Programme Making and Special Event：番組制作用無線）、ENG等、放送に関わる無線アプリケーションについても記載を追加した。

完成した文書（6A/ TEMP/61）をリエゾン文書として承認した。

- ・新レポート草案「第 1 地域における 694-790MHzの周波数要求」に向けた作業文書

入力文書：6A/73/Annex15（前回議長レポート）、6A/113（露）

出力文書：6A/ TEMP/62（6A/170/Annex10）

審議結果：

議長レポート（6A/73/Annex15）：JTG 4-5-6-7 へ送付するリエゾン文書の作業文書「WRC-12 決議 232 における放送に関する周波数要求に関する考察」とその修正提案である露からの入力文書（6A/113）をもとに、WRC-15 議題 1.2 を扱うラポータグループが第 1 地域における放送サービスのための周波数要求に関するレポートを作成した。新レポート草案に向けた作業文書として議長レポートに添付した。

○他のWRC-15 議題

- ・WRC-15 議題 1.3 の準備に関するITU-R WP5B, 5C, 5Dへのリエゾン文書

「CPM15-1 の決定への返答におけるWRC-15 議題 1.3 の準備」

（ITU-R WP1B, 4A, 4B, 4C, 6A, 7B, 7C, 7Dへ情報共有）

入力文書：6A/82（WP5A）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

CPM15-1 でWRC-15 議題 1.3*の担当グループとなったITU-R WP5Aから、関連するWPに対し、作業計画の周知と関連情報の提供をよびかけるリエゾン文書。ITU-R WP5Aで作成した作業計画の草案とCPMレポートの概要案のリンク先が記載されている。Notedとした。

*議題 1.3：決議 646（Bバンドや連絡無線の周波数が該当）の改訂。
広帯域公共保護と災害利用(PPDR)。

- ・ ITU-R WP3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7DおよびIMO, IALAへのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.15」

入力文書：6A/85（WP5B）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

WRC-15 議題 1.15※について、ITU-R WP5Bが作業計画の周知と関連情報の提供をよびかけるリエゾン文書である。ITU-R WP5Bの作業班で作成した作業計画とCPMレポートの草案が添付されている。Notedとした。

※WRC-15 議題 1.15：

450-470MHz 海上移動業務における船上（船間）通信の周波数需要の検討

- ・ ITU-R WP4AとSCへのリエゾン文書「WRC-15 議題 9.1（9.1.8）」

（WP5A及びWP6Aへ情報共有）

入力文書：6A/131（WP7B）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-R WP7Bは、ナノ・ピコサテライトの規則手続きに関するWRC-15 議題 9.1（9.1.8）のCPMレポート草案の作成を開始しており、関係するWPに対し、情報の提供を求めるリエゾン文書である。議題に関連する周波数とWP6Aとの関係が不明との意見が出たが、Notedとした。

OWRC-12 決議・勧告に関連する研究の作業計画

- ・ WRC-12 決議と勧告に関連した研究の作業計画の更新

入力文書：6A/73/Annex（前回議長レポート）

出力文書：6A/TEMP/76（6A/170/Annex13）

審議結果：

前回議長レポートに添付された「WRC-12 決議と勧告に関連した研究の作業計画」（6A/73/Annex18）を更新した。出力文書を作業計画として議長レポート添付とした。

(2) 共用検討 (Sharing Studies) 手法

○新レポート「放送業務への干渉の評価方法」

・新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] 「放送業務への干渉の評価方法」

入力文書：6A/73/Annex9 [, 6A/73/Annex12] (前回議長レポート),
6A/120 (米), 6A/130 (CBS), 6A/133 (伊),
6A/143 (仏), 6A/144 (独), 6A/147 (イラン),
6A/151 (EBU) [, 6A/149 (DBA),
6A/112 (CBS), 6A/122 (米),
6A/136 (Free TV Australia), 6A/150 (EBU)]

出力文書：6A/TEMP/64 (SG6 上程)

審議結果：

議長レポート (6A/73/Annex9) は、放送の保護基準を定めた勧告ITU-R BS./BT.1895 を補足し、主管庁が放送以外のサービス/アプリケーションから地上放送への干渉評価を行うガイドラインを提供する新レポートである。2012年4月会合では、プレナリにおいて米他数ヶ国が検討不十分として反対し、議長レポートへ添付していた。

放送サービスへの干渉評価として、Basic Assessment と Further Assessmentの2段階の評価を記載している。勧告ITU-R BS./BT.1895 が示すI/N基準値を満たす場合はBasic Assessmentで評価が完了できる (前会合での日本提案) とし、Further Assessmentはモンテカルロ法などを用いてC/N劣化や場所率劣化を評価するとしている。

今会合で、米はIntroductionへの目的 (放送以外のサービスが放送の周波数帯域や隣接帯域を使用できるか、放送以外のサービスからの保護基準) などの追記、APPENDIX4 TO ANNEX1 などへのATSC 6MHzの例の追加、放送サービス保護のための離隔距離を記載しているAPPENDIX5 TO ANNEX1 のセクション3及びAPPENDIX6 TO ANNEX1 の削除などの修正とレポート化を進めることを提案 (6A/120) し、CBSはこの提案を支持した (6A/130) 。

伊は、4月会合において「場所率 (location probability)」の定義が議論されたことを踏まえ、「場所率」、「参照場所率」、「ピクセル」、「カバレッジエリア」の4単語について、DTTB Handbookを参考に定義する提案をした (6A/133) 。

仏は、4月会合で寄与 (6A/31) し、継続審議 (前回議長レポート 6A/73 Annex.12) となった「C/IによるIMTから地上デジタル放送への干渉評価法」を新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]のAnnex2として追加する修正提案を行った (6A/143) 。

独は、「場所率 (location probability)」の意味が他の文書と異なって使われているため、別の表現「受信場所率 (reception location probability)」を使用すべき、などの修正提案や伝搬モデルがJTG 5-6 と異なるなどの問題点の指摘を行った (6A/144)。

イランは、JTG 4-5-6-7 による議題 1.2 の検討のため、WP6Aは新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]をまとめ、SG6 に上程すべきだとした (6A/147)。また、Appendix 1 to Annex 1 のタイトルに「DVB-T屋根上固定受信の場合」を追記する提案をした。これに対し、日本から放送方式がDVB-Tに限定されるものではないためDTTBと修正することを提案され、承認した。

EBUは、主にAnnex2 に記載されている場所率劣化による評価法のエディトリアル修正と説明の追加を行った (6A/151)。

デンマーク (DBA) は、「IMT基地局が完全にランダムに配置される」として検討することは実態に合っていないとし、現在の携帯電話基地局に併設することがほとんどであると考え、既存の基地局の配置に基づきTV受信者への影響を評価する手法の方がより適応性があるとした (6A/149)。IMT基地局がランダムに配置されることを想定するようなモンテカルロ法よりも既存の携帯電話基地局の整備状況を考慮すべきとした。Noted。

CBS、米、Free TV Australia、EBUは、4 月会合時の仏寄書 (6A/31) を記載する議長レポート (6A/73/Annex12) に対し、コメントを出した (6A/112, 6A/122, 6A/136, 6A/150)。いずれもGSM網を利用している、干渉が一波の時のみしか使えないことなど問題点を指摘するものであった。Noted。

米寄書 (6A/120) をベースにドラフティングを開始し、Introductionに記載の内容を整理、独寄書 (6A/144) による「受信場所率 (Reception Location Probability)」、Coverage AreaとService AreaはService Areaに統一、などを経て、仏寄書 (6A/143) の対応を除き、新レポート案 (出力文書、6A/TEMP/64) を承認した。

仏は、その提案は有用であり、新レポートに盛り込むに値すると主張したが、単一の干渉波や、固定受信しか対象にできないことなどから、多くの主管庁は、このGeneralなガイドラインには不適當と反対した。

独は、全主管庁間の合意を求めて継続審議を唱えた。

JTG 4-5-6-7 への提供のメ切 (2012 年 12 月末) に間に合わせるため、今会合で完成させるべく審議し、独と仏が承認に反対したため、両国の異議を付記したが、出力文書を新レポート案としてSG6 へ送付することを承認した。

○その他

- ・ レポートITU-R BT.2247 「DTTB(地上デジタルテレビジョン放送)とIMT(国際移

動通信)の両立性に関する野外測定と分析」の改訂草案に向けた作業文書

入力文書：6A/73/Annex10（前回議長レポート），6A/122（米）

出力文書：6A/TEMP/75（6A/170/Annex7）

審議結果：

議長レポート（6A/73/Annex10）は、新レポート草案ITU-R BT.[EXAMINEDTTBIMT]「DVB-TとIMTの重なり合う隣接チャネル干渉シナリオに関する考察」に向けた作業文書である。豪で実施したIMTからDVB-Tへの隣接干渉に関する野外測定結果を記載している。新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]「放送業務への干渉の評価方法」（6A/73/Annex9）の事例の取り纏めが意図されている。

米は、「IMT」は「IMT-2000」とすべきこと、IMT-2000 基地局のアンテナ利得や帯域外放射（OoB）特性など検討パラメータの明確化などをコメントした（6A/122）。豪は、エディトリアルな指摘は歓迎とした。

新レポート草案ITU-R BT.[EXAMINEDTTBIMT]は、審議の結果、新レポートとするのではなく、ケーススタディを記載したレポートITU-R BT.2247に含めるのが適当とし、議長レポートに添付して継続審議することとした。

・ 勧告ITU-R BT.1895「放送業務の保護基準」のタイトル修正案

入力文書：6A/139（米）

出力文書：6A/TEMP/74（6A/170/Annex3）

審議結果：

勧告ITU-R BT.1895「放送業務の保護基準」のタイトルを「保護基準」から「ガイドライン」に変更する修正案である。

今会合では、新レポート草案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]の審議を優先し、入力文書（6A/139）の審議を次会合とすることを米自らが提案して、WP6Aはこれを承認した。勧告改訂草案として議長レポート添付とした。

(3) 共用検討（Sharing Studies）に向けた特性とパラメータ

○IMTの共用検討に関するパラメータ

・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する共用検討に関するパラメータ」

入力文書：6A/166（WP5D）

出力文書：6A/TEMP/65（リエゾン文書）

審議結果：

入力文書（6A/166）は、ITU-R WP5DがJTG 4-5-6-7 へ送ったリエゾン文書であり、694～790 MHzの周波数帯の利用に係るWRC-15 議題 1.2 に関連する

共用検討で使用するIMTパラメータの最終リストを提供するものである。

DGは、入力文書を検討し、リエゾン文書を送ることとした。今後の会期を考慮し、宛先はJTG 4-5-6-7、ITU-R WP5Dへは“copy to WP5D”とした。

WP6Aが放送の技術的、運用上の特性と保護要求を今会期で検討していることを伝えるとともに、共用検討にはtypical realistic mobile networkとuniform mobile networkの2つのシナリオをあげパラメータを明確にするべき、IMTの不要放射はEUで決められている制限を考慮すべき、など入力文書に対し意見を述べることとした。

作成した出力文書（6A/TEMP/65）をリエゾン文書として送付することを承認した。

○地上デジタルテレビジョン放送の技術的特性

- ・ JTG 4-5-6-7 へのリエゾン文書「WRC-15 議題 1.2 に関する地上デジタルテレビジョン放送の技術的特性と他の技術課題」

入力文書：6A/ 73/Annex14（前回議長レポート）、
6A/95（WP3K）、6A/121（米）、6A/135（BBC）、
6A/138（Free TV Australia）、6A/161（EBU）

出力文書：6A/TEMP/63（リエゾン文書）

審議結果：

前回議長レポート（6A/ 73/Annex14）は、WRC-15 議題 1.1、1.2 を検討するJTG 4-5-6-7 へ送付する共用検討のための情報提供のリエゾン文書案である。ANNEX1 でDTTBとIMTの共用検討のための伝搬モデルと用語（ピクセル、場所率、保護基準など）の定義に関する情報を提供し、ANNEX2 で将来JTG 4-5-6-7 で考慮されるべき既存のITU-Rでの研究項目のリストを提供することを検討している。

米は、議長レポート（6A/73/Annex14）のエディトリアル修正と文章の補足、追加、コメントの記載を行った（6A/121）。エディトリアル修正では、タイトルも含め“IMT”を“IMT-2000”と“IMT-Advanced”に区別している。

「所要の共用検討」については、“IMT-2000”と“IMT-Advanced”を共に考慮し“IMT”をそのまま使うこととした。また、露の指摘により、“if the receiver is cable-ready”という追記は反映しないこととした。

BBCは、共用検討に必要であるが、明確となっていないDuplex type、DTTBとIMTとの間の所要周波数間隔、TV受信モード、IMT帯域幅、IMTトラフィック負荷条件、帯域外輻射制限値といったIMT側の詳細条件を指摘した（6A/135）。WP6Aからのリエゾン文書にて要求することを提案した。

Free TV AustraliaはAPPENDIX TO ANNEX 2で紹介する勧告、レポートの

リストの説明を補足する記述を行い（6A/138）、EBUは共用検討においてJTG 4-5-6-7 が利用する放送サービスのパラメータやプランニング基準のリストを完成させる目的でGE06 やDVB-Tに基づくパラメータを記載できる表（受信形態毎の所要C/N、最小電界強度、混信保護比）を追記（数値未記入）した（6A/161）。また、694～790 MHz帯の放送サービスの技術的、運用上の特性に関し、Circular letter 6/LCCE/78 への回答を参照し、放送サービスでの実利用の情報を引用することを提案した。

2 つのトピックに分けてドラフティング作業を進めることとなり、共用検討のための放送サービスの技術的、運用上の特性と保護要求（ANNEX 1）についてはEBUが、JTG 4-5-6-7 が実施することを提案する研究（ANNEX 2）についてはBBCが主導して進めることとなった。

最初に、米が議題 1.1 と 1.2 を分離すべきと提案し、議題 1.1 については何かある場合に別のリエゾン文書にすることとした。

Broadcast Coverage Area、Reception Location Probabilityなどの用語の定義、関連勧告、レポートのリストの冒頭への記載、GE06 合意をベースとする技術的パラメータなどを審議し、完成した出力文書（6A/TEMP/63）をリエゾン文書として承認した。

(4) その他

- ・ WP6Aへのリエゾン文書「決議 224（WRC-12）に関する両立性検討」

入力文書：6A/100（WP5D）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

WRC決議 224 に基づいたDVB-TとIMTとの両立性検討において、DVB-Tの帯域外放射（OoB）については、WP5Dの所掌外であるとWP6Aが文書（5D/1163）で指摘していた。これに対して、2011 年 10 月会合において、WP5Dが作成したレポート草案（その後ITU-R M.2241）から、DVB-Tに関する記述を削除したことを報告したリエゾン文書である。情報文書のため、Notedとする。

- ・ WRC-15 議題 1.1,1.2 関連のラポータグループについて
アンケートを〆切後に提出した主管庁があることなどの理由でBunch氏から出されたラポータグループの設置を継続する提案を承認した。

3.4 その他(SWG 6A-4)

SWG 6A-4 では、アナログ放送からデジタル放送への移行に関するレポートの改訂提

案やリエゾン文書等に関する審議を行った。

7 件の入力文書を審議し、出力文書は 2 件(レポート改訂案とリエゾン文書)であった。

○地上デジタル放送への移行

- ・レポートITU-R BT.2140-4「アナログからデジタルへの地上放送の移行」の改訂案

入力文書：6A/132（ケニア），6A/148（地デジ移行に関するラポータ）

出力文書：6A/TEMP/42（SG6 上程）

審議結果：

地上デジタル放送を開始した各国の状況を報告するレポートITU-R BT.2140-4「アナログからデジタルへの地上放送の移行」の情報更新の提案である。

ケニアは、デジタルへの移行に向けた具体的な時期の情報、都市名の追加などを行った（6A/132）。アナログの終了は、12 月 31 日のナイロビから段階的に行うこととした。DVB-T2 については、9 月にはナイロビ等 6 都市で既に無料放送及び有料放送を開始した。周波数プランニングは、WRC-12 を受けて、チャンネル 21～48（470～694 MHz）で再検討を始めた。

ラポータは、伊の地上デジタル放送への移行状況に関する情報の更新を行った（6A/148）。伊では、2012 年 7 月にアナログ放送を終了し、地上デジタル放送はDVB-T、DVB-H、DVB-T2 によって放送を行っている。人口カバー率は現在 99%に達し、地上波を主に受信するユーザが 83%となっている。周波数政策に関して、放送事業者への周波数割当の状況やDVB-T2 への移行プラン、マルチプレクサの割当状況などの情報を追加している。

ケニアとラポータ（伊）からの寄与文書を元に、レポートBT.2140 の改訂案を作成し、SG6 へ上程とした。

○ITU-T SG5 からのリエゾン文書

- ・リエゾン文書「新勧告ITU-T K.91（K.guide）の承認」

入力文書：6A/74（ITU-T SG5）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-Tの新勧告K.91（K.guideとして議論されたもの）「無線周波数の電磁場による人体被曝の調査、評価、監視のためのガイドライン」が承認された旨を伝えるリエゾン文書である。AAP手続きによる承認プロセス（Alternative Approval Process（勧告ITU-T A.8に基づく承認プロセス、8週以内の短期間

に承認を得る手続き))に入ったことをITU-RのSG1、SG5、SG6 と関連するWP、およびITU-DのSG1 に知らせる文書である。Notedとした。

○ITU-D SG1 からのリエゾン文書

- ・リエゾン文書「研究課題ITU-D 23/1（電磁防護に関する方策）」

入力文書：6A/101（ITU-D SG1）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

電磁防護に関する方策について、ITU-T SG5、ITU-R WP 1C、WP 6A、WP 5A、WP 5Dに各WPへの横断的参加並びに情報の共有を求めるものである。各WPにフォーカルポイントを用意しており、WP6Aはイスラエルのマザール博士である。Notedとした。

○ITU-T FG-DR&NRRからのリエゾン文書

- ・リエゾン文書「災害救助システムとネットワーク復旧に関するフォーカスグループ（ITU-T FG-DR&NRR）の設立」とITU-T FG-DR&NRR議長へのリエゾン返書

入力文書：6A/99（ITU-T FG-DR&NRR議長）

出力文書：6A/TEMP/41（リエゾン文書）

審議結果：

入力文書（6A/99）は、2012年1月のTSAG会合で設立された災害救助システムとネットワーク復旧に関するフォーカスグループ（ITU-T FG-DR&NRR）の活動について情報提供する文書である。グループの目的として、災害救助とネットワーク復旧に関する要求条件を整理、標準化作業項目、関連SDOとの協力、を紹介し、協力を要請している。ITU-T以外にも広く参加を呼び掛けている。

これに対し、同グループ議長へのリエゾン文書「災害救助のための国際ラジオ放送（IRDR）プロジェクト」（6A/TEMP/41）を作成し、リエゾン文書として承認した。ITU-T FG-DR&NRRの設立に対し、災害時・被災後の支援とネットワーク復旧を目的としたIRDRプロジェクトの取り組みについて紹介している。

○その他

- ・ITUデータベースへの放送業務関連用語定義の追加提案

入力文書：6A/140（CCV に関するSG 6 ラポータ）

出力文書：なし（情報扱い）

審議結果：

ITU-Rで使用されている用語については、どの勧告で、どのような定義で使用されているかを収録した用語データベースがHP (<http://www.itu.int/pub/R-TER-DB/en>) で公開されている。CCV (Coordination Committee for Vocabulary) の要請で各SG から選ばれた用語担当の専門家の協力で作成されたもので、ITU の 6 つの公用言語全てについて翻訳用語・定義が示されている。入力文書 (6A/140) は、このITUの用語データベースへの用語追加提案である。具体的には、「UHDTV」などの 8 つの単語についてその定義と、定義作成に使用した勧告が提案されている。複数のWPに送付されており、WP6AとしてはNotedとした。

・ Status of Texts

入力文書：6A/102 (BR)

出力文書：なし (情報扱い)

審議結果：

入力文書 (6A/102) は、BRが作成したWP6A、WP6B、WP6C所掌の研究課題、勧告、レポート等の文書リストであるStatus of Textsを紹介するものである。情報として紹介された。

4. あとがき

今会合で、地上送信に関しては、日本は 3 件の寄書を入力した。1 件目は、地上デジタルテレビジョン放送のスペクトル制限マスクに関するもので、4 月会合で日本が提案した勧告改訂草案が前回の議長レポートに添付されていた。勧告ITU-R BT.1206 改訂案の早期の承認を求めるとともに、承認後に、WP1Aに対して、一般的なスペクトラムマスクを規定する勧告ITU-R SM.1541 のAnnex 4 で勧告ITU-R BT.1206 を参照する改訂を求めるリエゾン文書を入力した。WP6Aは勧告ITU-R BT.1206 の改訂案をSG6 へ上程し、リエゾン文書についても承認した。2 件目は、携帯端末向け地上マルチメディア放送のプランニング基準に関してであり、4 月会合で日本から提案したGeneralに、基本とするプランニング基準として最小電界強度と混信保護比を明記し、その標準受信環境を定義する提案を行った。WP6Aは韓国からAnnex1 に入力されたT/AT-DMBに関する情報とともに新勧告草案ITU-R BT.[ETMMPLAN]に向けた作業文書として議長レポートに添付とした。3 件目は、ISDB-Tの中継局ネットワーク構築に関する新レポートの提案である。デジタル中継局のネットワーク構築に関して、ISDB-Tの中継方式やSFNの遅延時間の調整などの日本の経験のレポート化を目指した。今後も継続した寄与を予定しており、新レポート草案BT.[ISDB-T_RELAY]に向けた作業文書として議長レポートに添付とした。

その他、注視すべき点としては、地上デジタルテレビジョン放送の周波数プランニング基準に向けた標準受信システムの特性に関する新勧告草案ITU-R BT.[DTVX]、音声・テレビジョン・マルチメディアといった様々な地上デジタル放送を 1 つにまとめた新レポート案ITU-R BT.[DTB]の審議がある。前者は、ATSC、DVB-T、DVB-T2 の各パラメータが出揃い新勧告草案として議長レポートに添付となっている。次回、2013 年 4 月会合で新勧告案としてSG6 へ上程する可能性が高い。後者は、新レポート草案に向けた作業文書であり、WP6Aはこのドラフト作業のため露を議長としたラポータグループを設置することを承認した。

また、放送保護・共用では、日本が提案を行ったWP1Aへのリエゾン文書「勧告ITU-R SM.2028『30MHz未満の周波数を用いる誘導システムと無線通信業務との離隔距離の計算法』へのコメント」を承認した。勧告ITU-R SM.2028 は誘導システム（IHクッキング、誘導を利用した地下鉄の無線設備など）から既存業務を保護するための離隔距離の計算法に関するものであるが、放送保護基準を定めた勧告ITU-R BS./BT.1895 のI/N=-20dBに従った計算が考慮されていないため、これを考慮するようにWP1Aへ求めている。

この他、日本を含む複数の主管庁の寄与をまとめた放送に関わる共用検討手法のガイドラインを提供する新レポート案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]「放送サービスへの干渉の評価ガイドライン」は、独と仏が承認に反対したため、両国の異議を付記した上で、今会合のドラフト作業の結果を承認し、新レポート案としてSG6 へ上

程とした。新レポートはBasic AssessmentとFurther Assessmentの 2 段階の放送サービスへの干渉評価を記載しているが、日本は、前回会合で、放送保護基準を定める勧告ITU-R BS/BT.1895 で示すI/N基準値を満たす場合はBasic Assessmentで評価を完了できるという記述の追加を提案した。

JTG 4-5-6-7 への情報提供のメ切を控えた今会合では、WRC-15 議題関連は重要な審議対象とされ、多くの時間をその議論のために費やした。特に第 1 地域に関わる議題 1.2 を中心に検討を行い、3 件のリエゾン文書、1 件の新勧告、1 件の勧告改訂、1 件の新レポート、1 件のレポート改訂を承認した。DVB-T2 のプランニング基準を勧告する新勧告案ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN]と勧告改訂案ITU-R BT.1368-9、新レポート案ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]がこれに含まれる。

次回会合に向けた課題としては、地上送信に関しては、今会合に継続し、携帯端末向け地上マルチメディア放送のプランニング基準の勧告化に向けて共通要件であるGeneralの記載の修正対応、ISDB-Tマルチメディア放送の標準受信システム、暫定値となっている混信保護比の検証、最小電界強度の追加入力がある。また、新勧告案ITU-R BT.[DTPRX]へのISDB-T標準受信システムのパラメータの寄与の検討、新レポート案ITU-R BT.[DTB]に向けた作業文書のドラフト作業を行うラポータグループへの参加がある。

放送保護・共用については、IMTへの周波数分配の検討（WRC-15 議題 1.1）の国内審議を行うために設置されるJTG4-5-6-7 対応WGと連携して対応していく。

以上

表 1 日本からの出席者 (4 名)

氏名	所 属
林 知治	総務省 情報流通行政局 放送技術課 国際係長
久代 雄一郎	日本放送協会 技術局 計画部 副部長
古田 浩之	日本放送協会 放送技術研究所 放送ネットワーク研究部 主任研究員
村山 研一	日本放送協会 放送技術研究所 放送ネットワーク研究部 専任研究員

表 2 入力文書 (全 116 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/73	Chairman, WP 6A	Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 19-27 April 2012)	6A-1	6A/49, 6A/70
2	Annex1	Chairman, WP 6A	LIST OF INPUT DOCUMENTS		
3	Annex2	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT REVISIONS OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1206 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	6A-1	6A/47, 6A/48
4	Annex3	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R BS.1195 - TRANSMITTING ANTENNA CHARACTERISTICS AT VHF AND UHF	6A-1-1	6A/69
5	Annex4	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-9 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	6A-1	6A/58
6	Annex5	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.2016 - Error-correction, data framing, modulation and emission methods for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	6A-1-1	6A/67
7	Annex6	Chairman, WP 6A	Working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[DTVRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	6A-1	6A/53
8	Annex7	Chairman, WP 6A	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	6A-1-1	6A/71
9	Annex8	Chairman, WP 6A	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBCELLID] - Usage of transmitters identification in large scale DVB-T Single Frequency Network	6A-1	6A/52
10	Annex9	Chairman, WP 6A	PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for assessment of interference into the broadcasting service from other services/applications	6A-3-2	6A/64
11	Annex10	Chairman, WP 6A	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[EXAMINEDTTBIMT] - Examination of overlapping adjacent channel interference scenarios of DVB-T and IMT	6A-3-2	6A/75
12	Annex11	Chairman, WP 6A	Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	6A-2	6A/44
13	Annex12	Chairman, WP 6A	ELEMENTS TO BE CONSIDERED FOR INCLUSION IN REPORT ITU-R BT.2247 OR REVISION OF REPORT ITU-	6A-3-2	

			R BT.[DTTBGUIDELINE] - A methodology for assessment of interference into the broadcasting service from IMT networks operating in adjacent channels		
14	Annex13	Chairman, WP 6A	Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 agenda item 1.2	6A-3-1	6A/61
15	Annex14	Chairman, WP 6A	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-9 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	6A-3-3	6A/63
16	Annex15	Chairman, WP 6A	Working document towards a liaison statement to JTG 4-5-6-7 - Considerations related to spectrum requirements for the broadcasting service with regard to Resolution 232 (WRC-12)	6A-3-1	6A/61, 6A/62
17	Annex16	Chairman, WP 6A	ESTABLISHMENT OF A RAPPOREUR GROUP TO UNDERTAKE WRC-15 RELATED STUDIES CALLED FOR BY CPM15-1		
18	Annex17	Chairman, WP 6A	ESTABLISHMENT OF A RAPPOREUR TO REVIEW DEFINITIONS USED IN RECOMMENDATION ITU-R BS.1195 - TRANSMITTING ANTENNA CHARACTERISTICS AT VHF AND UHF (AND POSSIBLY REVISE THE DOCUMENT AS A CONSEQUENCE)		
19	Annex18	Chairman, WP 6A	Work Plan for studies related to WRC-12 Resolutions and Recommendations	6A-3-1	6A/76
20	Annex19	Chairman, WP 6A	LIST OF LIAISON STATEMENTS		
21	Annex20	Chairman, WP 6A	list of output (temp) documents		
22	6A/74	ITU-T SG 5	Liaison statement - Consent on new Recommendation ITU-T K.91 (K.guide)	6A-4	Note
23	6A/75	ITU-T SG 5	Reply liaison on draft new Recommendation K.mhn	6A-2	Note
24	6A/76	ITU-T SG 5	Liaison statement - Resolution ITU-R 60	6A-2	Note
25	6A/77	ITU-T SG 9	Reply liaison statement ITU-T on draft new Recommendation K.mhn	6A-2	Note
26	6A/78	ITU-T SG 9	Reply liaison statement on the work of ITU-R Study Group 5 on K.mhn	6A-2	Note
27	6A/79	ITU-T SG 9	Reply liaison statement on coexistence of wired and wireless communications systems	6A-2	Note
28	6A/80	WP 5B	Liaison statement to Working party 6A	6A-2	6A/45
29	6A/81	WP 5A	Reply liaison statement to ITU-T Study Group 16, FG-AVA and JCA-AHF (copy for information to ITU-R Working Party 1B, ITU-R Working Party 6A, ITU-T Study Group 2, ITU-D Study Group 1, ITU-D Study Group 2 and ETSI ERM TG 17) - Technical characteristics of wireless aids for hearing impaired people operating in the VHF and UHF frequency range	6A-2	Note
30	6A/82	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 5B, 5C and 5D (copy to Working Parties 1B, 4A, 4B, 4C, 6A, 7B, 7C, 7D for information) - Preparations for WRC-15 Agenda item 1.3 in response to decisions of CPM15-1	6A-3-1	Note
31	6A/83	WP 5A	Liaison statement to relevant Working Parties of Study Group 5 on further studies on Cognitive Radio Systems (CRS) (copy for information to relevant Working Parties of Study Groups 1, 4, 6 and 7)	6A-2	6A/43
32	6A/84	ITU-T FG AVA	Progress Report of ITU-T Focus Group on Audiovisual Media Accessibility	6A-1	Note

33	6A/85	WP 5B	Liaison statement to ITU-R WPs 3K, 3M, 4A, 4C, 5A, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and the International Maritime Organization (IMO) and International Association of Marine AIDS to Navigation and Lighthouse Authorities (IALA) - World Radiocommunication Conference (WRC-15) Agenda item 1.15	6A-3-1	Note
34	6A/86	ITU-T FG AVA	Liaison statement to ITU-T Study Group 16 on proposal for CWG-WCIT concerning adoption of global standards on ICTs accessibility services	6A-1	Note
35	6A/87	WP 1A	Liaison statement to Working Party 6A - Definitions for Adjacent Channel Leakage power Ratio (ACLR) and Adjacent Channel Selectivity (ACS)	6A-1	Note
36	6A/88	WP 1A	Liaison statement to ITU-R WPs 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7C and 7D (copy to ITU-R WP 3L and to ITU-T SGs 5, 9 and 15 for information and/or action if any) - Developments on coexistence of wired telecommunication (including PLT) and radiocommunication systems	6A-2	Note
37	6A/89	WP 1A	Liaison statement to CISPR and ITU-R Working Parties 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D - A database for the protection of radio services	6A-2	Note
38	6A/90	WP 1C	Liaison statement to Working Party 6A - On recommendation ITU-R SM.1875 - DVB-T coverage measurements and verification of planning criteria	6A-1	6A/57
39	6A/91	WP 1B	Reply liaison statement to Working Party 6A on Recommendation ITU-R SM.1896 - Frequency ranges for global or regional harmonization of short-range devices	6A-2	Note
40	6A/92	WPs 1A and 1B	Liaison statement to Working Parties 4A, 4B, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 6B, 6C, 7B, 7C, 7D on further studies on cognitive radio systems (CRS)	6A-2	Note
41	6A/93	WP 3M	Liaison statement to Working Parties 1A, 4A, 4C, 5A, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C, 7D and Joint Task Group 4-5-6-7 - Handbook on ITU-R propagation prediction methods for interference and sharing studies	6A-1	Note
42	6A/94	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A - Digital Radio Mondiale (DRM) in the 26 MHz band (25 670-26 100 kHz)	6A-1-1	6A/68
43	6A/95	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A (copy to Working Party 1A for information) - Definition of location probability - Guidelines for assessment of interference into the broadcasting service from other services/applications	6A-1, 6A-3-2, 6A-3-3	6A/59, 6A/63
44	6A/96	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A - Interference assessment over cold and warm sea paths	6A-1	Note
45	6A/97	WP 3L	Liaison statement to Working Parties 6A and 5C - Future revision of Recommendation ITU-R P.842	6A-1	Note
46	6A/98	WP 3M	Liaison statement to Working Party 6A - Handbook on ITU-R propagation prediction methods for interference and sharing studies	6A-1, 6A-2	Note
47	6A/99	Chairman, FG-DR&NRR	Liaison statement - Establishment of Focus Group on Disaster Relief Systems, Network Resilience and Recovery	6A-4	6A/41
48	6A/100	WP 5D	Liaison statement to Working Party 6A - Compatibility studies in relation to Resolution 224 (Rev. WRC-12)	6A-3	Note
49	6A/101	ITU-D SG 1	Liaison statement on ITU-D Q. 23/1	6A-4	Note
50	6A/102	BR Study Group Department	Status of texts	6A-1, 6A-2, 6A-3, 6A-4	Note
51	6A/103	Australia	Proposed draft revision of Recommendation ITU-R BT.1735-1 - MER values of operating DVB-T transmitters	6A-1	6A/54
52	6A/104	Australia	Comments on preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBCELLID] - Australian experience in usage of	6A-1	6A/52

			transmitters identification in DVB-T single frequency networks		
53	6A/105	Australia	Updates to Report ITU-R BT.2252 and observations on Recommendation ITU-R BT.1735 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A and B	6A-1	6A/55
54	6A/106	RG for WRC-15 related studies	First progress Report - Rapporteur Group to undertake WRC-15 related studies called for by CPM15-1	6A-3-1	6A/61
55	6A/107	Rapp. Rec. ITU-R BS.1195	Proposed amendments to Recommendation ITU-R BS.1195 - Transmitting antenna characteristics at VHF and UHF	6A-1-1	6A/69
56	6A/108	RG for WRC-15 related studies	Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 Agenda item 1.2	6A-3-1	6A/61
57	6A/109	Israel (State of)	Corrections to Recommendation ITU-R BS.1195 - Transmitting antenna characteristics at VHF and UHF	6A-1-1	6A/109
58	6A/110	C.B.S., Inc.	Preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[DTVRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	6A-1	6A/53
59	6A/111	C.B.S., Inc.	Draft revisions of Recommendation ITU-R BT.1206 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	6A-1	6A/47
60	6A/112	C.B.S., Inc.	Proposals and comments on Annex 12 to Document 6A/73 - A methodology for assessment of interference into the broadcasting service from IMT networks operating in adjacent channels	6A-3-2	Note
61	6A/113	Russian Federation	Proposals for inclusion into a liaison statement to JTG 4-5-6-7	6A-3-1	6A/61, 6A/62
62	6A/114	Russian Federation	Framework for preliminary draft new ITU-R Recommendation on digital terrestrial broadcasting systems	6A-1	6A/49, 6A/50, 6A/51, 6A/70
63	6A/115	Russian Federation	Digital terrestrial television 2nd generation reference receiving system characteristics for frequency planning	6A-1	6A/53
64	6A/116	Japan	Proposed liaison statement to ITU-R Working Party 1A - Request of inclusion of Recommendation ITU-R BT.1206 in Annex 4 to Recommendation ITU-R SM.1541 - Specific spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	6A-1	6A/48
65	6A/117	Japan	Proposed liaison statement to ITU-R Working Party 1A - Commend on draft new Recommendation ITU-R SM.[IND_SYSTEM] - Protection distance calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 MHz	6A-2	6A/46
66	6A/118	Japan	Proposed modifications to a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	6A-1-1	6A/71
67	6A/119	ITU-T FG AVA	Reply liaison statement for FG-AVA to ITU-R Working Party 5A on technical characteristics of wireless aids for hearing impaired people operating in the VHF and UHF frequency range (AVA-I-0171)	6A-2	Note
68	6A/120	United States of America	Proposed draft new Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for the assessment of compatibility with the broadcasting services from other services and applications	6A-3-2	6A/64
69	6A/121	United States of America	Modifications to the Working document towards a liaison statement to JTG 4-5-6-7 - Considerations related existing and required sharing studies between IMT and DVT-T	6A-3-3	6A/63
70	6A/122	United States of America	Comments on the Working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[EXAMINEDTTBIMT] -	6A-3-2	6A/75

			Examination of overlapping adjacent channel interference scenarios of DVB-T and IMT		
71	6A/123	United States of America	Modifications to the preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.1368-9 - Planning criteria, including protection ratios for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	6A-1	6A/58
72	6A/124	United States of America	Modifications to the preliminary draft new Report ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	6A-2	6A/44
73	6A/125	United States of America	FM HD radio performance with single sideband transmission	6A-1	Note
74	6A/126	Korea (Republic of)	Proposed updates to working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	6A-1-1	6A/71
75	6A/127	Japan	Proposed working document towards a preliminary draft new Report ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] - Construction Technique of DTTB Relay Station Network for ISDB-T	6A-1	6A/73
76	6A/128	Rai Way S.p.A.	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBCELLID] - Usage of transmitters identification in large scale DVB-T Single Frequency Network	6A-1	6A/52
77	6A/129	Rai Way S.p.A.	Proposal on results of Circular letter 6/LCCE/78 - Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 Agenda item 1.2	6A-3-1	6A/61
78	6A/130	C.B.S., Inc.	Draft new Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for the assessment of compatibility with the broadcasting service from other services and applications	6A-3-2	6A/64
79	6A/131	WP 7B	Liaison statement to Working Party 4A and the Special Committee (copy for information to Working Parties 5A and 6A) - WRC-15 Agenda item 9.1.8	6A-3-1	Note
80	6A/132	Kenya (Republic of)	Proposed modification to Report ITU-R BT.2140-4	6A-4	6A/42
81	6A/133	Italy	Proposal to include the definition of some terms related to the concept of "location probability" in Reports ITU-R BT.2247 and/or ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]	6A-3-2	6A/64
82	6A/134	European Broadcasting Union Free TV Australia Ltd.	Further work towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN] - Planning criteria, including protection ratios, for second generation of digital terrestrial television broadcasting systems in the VHF/UHF bands	6A-1	6A/66
83	6A/135	British Broadcasting Corporation (BBC)	Proposal for Studies of Compatibility between IMT and DTTB	6A-3-3	6A/63
84	6A/136	Free TV Australia Ltd.	Elements to be considered for inclusion in Report ITU-R BT.2247 or revision of Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - A methodology for assessment of interference into the broadcasting service from IMT networks operating in adjacent channels	6A-3-2	Note
85	6A/137	Free TV Australia Ltd.	Proposal for a review of DTTB planning Handbook - Digital terrestrial television broadcasting on the VHF/UHF bands	6A-1	6A/56
86	6A/138	Free TV Australia Ltd.	Revisions to working document towards a liaison statement to JTG-4-5-6-7 - Considerations related to existing and required sharing studies between IMT and DVB-T	6A-3-3	6A/63
87	6A/139	United States of America	Revision to the title of Recommendations ITU-R BS.1895 and BT.1895	6A-3-2	6A/74
88	6A/140	SG 6	Proposal to add a number of broadcasting terms and/or	6A-4	Note

		Rapporteur to the CCV	acronyms and definitions to the ITU terminology database		
89	6A/141	TDF Group	Interference by LTE user equipment into DVB-T - Impact of out-of-band emissions	6A-1	6A/58
90	6A/142	Rapp. PLT	Report on recent developments concerning PLT	6A-2	Note
91	6A/143	France	Proposed modifications to preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for assessment of interference into the broadcasting service from other services/applications	6A-3-2	6A/64
92	6A/144	Germany (Federal Republic of)	Comments to PDNR Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for assessment of interference into the broadcasting service from other services/applications	6A-3-2	6A/64
93	6A/145	France	Update on work towards a modification to Recommendation ITU-R BS.412-9 - Planning standards for terrestrial FM sound broadcasting at VHF - Measurement results on the protection levels against interferers with exceeded MPX power in the FM sound broadcasting	6A-1	Note
94	6A/146	Iran (Islamic Republic of)	Support for the Questionnaire in Circular letter 6/LCCE/78	6A-3-1	6A/61
95	6A/147	Iran (Islamic Republic of)	Comments on the preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE]	6A-3-2	6A/64
96	6A/148	Rapp. on transition	Proposed modification to Report ITU-R BT.2140	6A-4	6A/42
97	6A/149	Danish Business Authority	Elements to be considered for inclusion into Report ITU-R BT.2247 or possible future revision of Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Methodology for modelling of IMT services in the 800 MHz band to assess its impact on DTT services in the lower adjacent band	6A-3-2	Note
98	6A/150	European Broadcasting Union	Comments regarding elements to be considered for inclusion in Report ITU-R BT.2247 or revision of Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - A methodology for assessment of interference into the broadcasting service from IMT networks operating in adjacent channels	6A-3-2	Note
99	6A/151	European Broadcasting Union	Proposed modifications to preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for assessment of interference into the broadcasting service from other services/applications	6A-3-2	6A/64
100	6A/152	European Broadcasting Union	Proposed way of dealing with the Questionnaire on spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in connection with WRC-15 Agenda item 1.2	6A-3-1	6A/61
101	6A/153	European Broadcasting Union	Proposals regarding the preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[DTVRX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	6A-1	6A/53
102	6A/154	Sony Corporation	Additional DVB-T2 receiver protection ratio and overload threshold measurements under LTE BS interference with different LTE traffic loadings	6A-1	6A/66
103	6A/155	Sony Corporation	Additional DVB-T2 receiver protection ratio and overload threshold measurements under DVB-T2 interference in adjacent/non-adjacent channels	6A-1	6A/66
104	6A/156	Sony Corporation	Comparison of DVB-T2 receiver protection ratios and overload threshold measurements at 690 MHz, 754 MHz and 786 MHz with LTE BS interference	6A-1	6A/66
105	6A/157	Sony Corporation	Additional DVB-T2 receiver protection ratio and overload threshold measurements under LTE UE interference with different LTE traffic loadings	6A-1	6A/66
106	6A/158	Sony Corporation	Survey of DVB-T receiver behaviour when operating in SFN with different TPS cell IDs on each transmitter	6A-1	6A/52
107	6A/159	Norddeutscher	Considering different levels of out-of-band noise in a	6A-1	6A/58,

		Rundfunk (NDR) Zweites Deutsches Fernsehen	revision of Recommendation ITU-R BT.1368-9 and working document towards a preliminary draft new Recommendation ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN] in Annex 9 to Document 6A/619 (old)		6A/66
108	6A/160	British Broadcasting Corporation (BBC)	Protection ratios of DTTB receivers in the presence of transient LTE signals	6A-1	6A/66, 6A/72
109	6A/161	European Broadcasting Union	Proposed modifications to the to the working document towards a liaison statement to JTG-4-5-6-7 - Considerations related to existing and required sharing studies between IMT and DVB-T	6A-3-3	6A/63
110	6A/162	WP 3K	Liaison statement to Working Party 6A - The correlation of short-term interfering signals	6A-1, 6A-3-2	6A/59
111	6A/163	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 on suitable frequency ranges under WRC-15 Agenda item 1.1	6A-3-1	6A/60
112	6A/164	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Initial information on spectrum requirements studies for WRC-15 Agenda item 1.1	6A-3-1	6A/60
113	6A/165	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Party 4A, Working Party 5A, Working Party 5B, Working Party 6A)	6A-3-1	6A/60, 6A/61
114	6A/166	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 - Sharing parameters for WRC-15 Agenda item 1.2	6A-3-3	6A/65
115	6A/167	WP 5D	Liaison statement to Joint Task Group 4-5-6-7 (copy to Working Party 6A) - Studies on spectrum requirements for WRC-15 Agenda item 1.2	6A-3-1	6A/60, 6A/61
116	6A/168	BR Study Group Department	List of documents issued (Documents 6A/73 - 6A/168)		

(注) Note: 情報として取り扱った文書、C: 議長報告に添付、L: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付

表3 出力文書一覧 (全36件)

	出力文書 番号 (6A/ TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書 番号 (6A/)	処理 (Annex)
1	6A/41	LIAISON STATEMENT TO THE CHAIRMAN, FOCUS GROUP ON DISASTER RELIEF SYSTEMS, NETWORK RESILIENCE AND RECOVERY (FG-DR&NRR) - INTERNATIONAL RADIO FOR DISASTER RELIEF (IRDR) PROJECT	6A-4	6A/99	L
2	6A/42	PROPOSED MODIFICATION TO REPORT ITU-R BT.2140-4	6A-4	6A/132, 6A/148	SG
3	6A/43	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5A WITH COPY TO WORKING PARTIES 5C AND 1B ON FURTHER STUDIES ON COGNITIVE RADIO SYSTEMS (CRS)	6A-2	6A/83	L
4	6A/44	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ASSESSDTTBCRS] - Assessment of interference into the broadcasting service from cognitive devices in the frequency band 470-790 MHz	6A-2	6A/73/Ann11, 6A/124	C Annex 8
5	6A/45	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 5B - COMMENT ON REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R M.1841 - Compatibility between FM sound-broadcasting in the band of about 87-108 MHz and the aeronautical ground-based augmentation system (GBAS) in the band about 108-117.975 MHz	6A-2	6A/80	L
6	6A/46	DRAFT LIAISON STATEMENT TO ITU-R WORKING PARTY 1A - COMMENT ON RECOMMENDATION ITU-R SM.2028 - Protection distance calculation between inductive systems and radiocommunication services using frequencies below 30 MHz	6A-2	6A/117	L
7	6A/47	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1206 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	6A-1	6A/73/Ann2, 6A/111	SG
8	6A/48	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1A - Request for inclusion of Recommendation ITU-R BT.1206 in Annex 4 to Recommendation ITU-R SM.1541	6A-1	6A/73/Ann2, 6A/116	L
9	6A/49	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	6A-1	6A/35, 6A/73, 6A/114	C Annex 9
10	6A/50	DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 133/6 - Enhancements of digital terrestrial television broadcasting	6A-1	6A/114	SG
11	6A/51	PRELIMINARY DRAFT REVISION OF QUESTION ITU-R 136/6 - Worldwide broadcasting roaming	6A-1	6A/114	SG
12	6A/52	TEXT FOR INCLUSION IN THE CHAIRMAN'S REPORT	6A-1	6A/73/Ann8, 6A/104, 6A/128, 6A/158	Text
13	6A/53	PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[DTVX] - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	6A-1	6A/73/Ann6, 6A/110, 6A/115, 6A/153	C Annex 2
14	6A/54	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1735 - Methods for objective reception quality assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of System B specified in Recommendation ITU-R BT.1306	6A-1	6A/103	C Annex 5
15	6A/55	PRELIMINARY DRAFT REVISION TO REPORT ITU-R BT.2252 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A and B	6A-1	6A/105	C Annex 6
16	6A/56	DRAFT REVISION OF ITU-R DTTB HANDBOOK - Digital terrestrial television broadcasting in VHF/UHF bands	6A-1	6A/137	SG

17	6A/57	REPLY LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 1C ON RECOMMENDATION ITU-R SM.1875 - DVB-T COVERAGE MEASUREMENTS AND VERIFICATION OF PLANNING CRITERIA	6A-1	6A/90	L
18	6A/58	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.1368-9 - Planning criteria, including protection ratios, for digital terrestrial television services in the VHF/UHF bands	6A-1	6A/73/Ann4, 6A/123, 6A/141, 6A/159	SG
19	6A/59	DRAFT LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 3K (COPY TO JTG 4-5-6-7,WORKING PARTIES 5A, 5C AND 5D FOR INFORMATION) ON THE CORRELATION OF SHORT-TERM INTERFERING SIGNALS	6A-1	6A/95, 6A/162	L
20	6A/60	LIAISON STATEMENT TO WORKING PARTY 5D - STUDIES UNDER WRC-15 AGENDA ITEMS 1.1 AND 1.2	6A-3-1	6A/163, 6A/164, 6A/165, 6A/167	L
21	6A/61	DRAFT LIAISON STATEMENT TO JTG 4-5-6-7 - SPECTRUM REQUIREMENTS FOR THE BROADCASTING SERVICE UNDER WRC-15 AGENDA ITEM 1.2	6A-3-1	6A/73/Ann13 6A/73/Ann15, 6A/6, 6A/106, 6A/108, 6A/113, 6A/129, 6A/146, 6A/152, 6A/165, 6A/167	L
22	6A/62	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT - Spectrum requirements for terrestrial television broadcasting in the frequency band 694-790 MHz in Region 1	6A-3-1	6A/73/Ann15, 6A/113	C Annex 10
23	6A/63	LIAISON STATEMENT TO JTG4-5-6-7 - TECHNICAL CHARACTERISTICS AND OTHER TECHNICAL ISSUES FOR TERRESTRIAL TELEVISION BROADCASTING IN CONNECTION WITH WRC-15 AGENDA ITEM 1.2	6A-3-3	6A/ 73/Ann14, 6A/ 95, 6A/121, 6A/135, 6A/138, 6A/161	L
24	6A/64	DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTTBGUIDELINE] - Guidelines for the assessment of interference into the broadcasting service	6A-3-2	6A/73/Ann9, 6A/120, 6A/130, 6A/133, 6A/143, 6A/144, 6A/147, 6A/151	SG
25	6A/65	LIAISON STATEMENT TO JTG 4-5-6-7 (COPY TO WP 5D) - SHARING PARAMETERS FOR WRC-15 AGENDA ITEM 1.2	6A-3-3	6A/166	L
26	6A/66	UPDATE OF REPORT ITU-R BT.2215-2 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers	6A-1	6A/134, 6A/154, 6A/155, 6A/156, 6A/157, 6A/159, 6A/160	SG
27	6A/67	DRAFT REVISION OF RECOMMENDATION ITU-R BT.2016 - Error-correction, data framing, modulation and emission methods for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	6A-1-1	6A/73/Ann5	SG
28	6A/68	DRAFT REVISION OF REPORT ITU-R BS.2251 - DIGITAL RADIO MONDIALE IN THE 26 MHz BAND (25 670-26 100 kHz)	6A-1-1	6A/94	SG
29	6A/69	PROPOSED AMENDMENTS TO RECOMMENDATION ITU-R BS.1195 - Transmitting antenna characteristics at VHF and UHF	6A-1-1	6A/73/Ann3, 6A/107,	SG

				6A/109	
30	6A/70	ESTABLISHMENT OF A RAPPOREUR GROUP FOR THE DEVELOPMENT OF PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[DTB] - Digital terrestrial broadcasting systems	6A-1	6A/35, 6A/73, 6A/114	C Annex 12
31	6A/71	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[ETMMPLAN] - Planning criteria for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands	6A-1-1	6A/73/Ann7, 6A/118, 6A/126	C Annex 4
32	6A/72	DRAFT NEW RECOMMENDATION ITU-R BT.[2NDDTTBPLAN] - Planning criteria, including protection ratios, for second generation of digital terrestrial television broadcasting systems in the VHF/UHF bands	6A-1	6A/619/Ann9, 6A/160	SG
33	6A/73	WORKING DOCUMENT TOWARDS A PRELIMINARY DRAFT NEW REPORT ITU-R BT.[ISDBT_RELAY] - Construction technique of DTTB relay station network for ISDB-T	6A-1	6A/127	C Annex 11
34	6A/74	DRAFT PRELIMINARY REVISION TO RECOMMENDATION ITU-R BS./BT.1895 - Protection criteria for terrestrial broadcasting systems	6A-3-2	6A/139	C Annex 3
35	6A/75	PRELIMINARY DRAFT REVISION TO REPORT ITU-R BT.2247 Field measurement and analysis of compatibility between DTTB and IMT	6A-3-2	6A/73/Ann10, 6A/122	C Annex 7
36	6A/76	UPDATES TO WORK PLAN FOR STUDIES RELATED TO WRC-12 RESOLUTIONS AND RECOMMENDATIONS	6A-3-1	6A/73/Ann18	C Annex 13

(注) C: 議長報告に添付 L: リエゾン文書送付 SG: SG6 に送付 Text: 議長報告本文に文章を記載